

鐵道抵當法案特別委員會會議事速記録第六號

明治三十八年二月十三日(月曜日)午前十時二十六分開會

○副委員長(子爵堀田正養君) 今日ハ會我ガ病氣デ出マセヌカラ私が代理ヲ致シマス、ソレデハ是カラ委員會ヲ開キマス
○都筑馨六君 此二十九條ノ十箇年ガ藤田サンガ居ナカタガ爲ニハッキリ極ラナカタカト覺エマスガ如何デスカ

○村田保君 是ハ政府委員ノ方デ尙考ヘテ見ルト云フコトニナッタ……

○副委員長(子爵堀田正養君) 唯今一木政府委員ハ本會ヘ出テ居ラレマスルカラ……

○藤田四郎君 是ハ大分……今修正ノ赤イ字直シテ貫ヒマシタカラ朗讀ヲナサイマ
スデスカ、如何デゴザイマス

○副委員長(子爵堀田正養君) 如何デス、若シ違フト云フコトガアルト困リマスカラ朗讀ヲ……

○都筑馨六君 先達テ新二十八條デシタカニ關聯シテ新ニ作ルト云フ案ハ出來マシタ
ンデスカ

○政府委員(吉村源太郎君) マダ少シ調ベ中デゴザイマスカラ、モウ少シ御待チテ願ヒ
マス

〔書記朗讀〕

第二章 登録

第二十七條 鐵道財團ニ關スル登録ヲ爲ス爲主務官廳ニ鐵道抵當原簿ヲ備フ

鐵道抵當原簿ハ一箇ノ鐵道財團ニ付一用紙ヲ設ク

第二十八條 登録ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外當事者ノ申請ニ因リテ之
ヲ爲ス

第二十九條 抵當權設定ノ登録申請書ニハ左ノ書面ヲ添附スヘシ

一 抵當權ノ設定ニ關スル證書

二 鐵道財團目錄

當事者ハ抵當權設定認可ノ申請書ニ添附シタル鐵道財團目錄ヲ前項第二號ノ
書面トシテ引用スルコトヲ得

第一項第二號ノ書面ハ第二以下ノ順位ノ抵當權設定ノ登録申請書ニハ之ヲ添
付スルコトヲ要セス

○藤田四郎君 此舊三十條即チ新第二十七條ノ第二項ノ原簿調製ノコトニ付キマ
シテハ、ドウモ是ハ登記所ト違ヒマスコトデゴザイマスカラ 要ルマイカト思ヒマスガ、更ニ修
正案ヲ出シタ上ニモウ一ツ追加イタシマシテ削除ヲ願ヒマス、大シタ重大ナル事柄デハゴ
ザイマセヌケレドモ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 唯今改正ノ二十七條二項ノ削除説ガ出マシテゴザイ
マスガ、成ルホド是ハ書キ方ヨリ見マスルト誠ニ小サイ事柄ノ様デアリマスガ、實ハ此規

定ハ餘ホド大キイ原則ヲ定メマシタ考デアリマスノデ、詰リ財團ニ付テ一ツノ用紙ヲ設ク
ルト云フコトハ財團ヲ單位ト致シマシテ登録ヲ爲スト云フ原則ヲ認メマシテ、詰リ會社ヲ
單位トシテ登録ヲ爲スト云フ主義デ無ク財團ヲ本トシマス主義デアリマス、是ハ願クハ此
儘存シテ置カレマスルヤウニ願ヒマス

○藤田四郎君 強テ主張スル事柄デハゴザイマセヌガ、登記役所ト違ヒマシテ主務官
廳デゴザイマスカラ、斯ウ云フ微細ナコトハ載セル必要ハ無クテ當然サウ云フコトハ分ルモ
ノデゴザイマセウシ、ドウカ削ッタ方ガ却テ宜シイカト思ヒマスノデゴザイマス

○都筑馨六君 斯ウ云フ様ナコトハ登記法ノ中ニモアリハシマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 登記法ノ中ニ之ト同ジ規定ガゴザイマス

○村田保君 餘リ賛成モ無イ様デスカ成ルベクドウカ進マセテ戴キタイ

○副委員長(子爵堀田正養君) 其次ハ如何デゴザイマス、二十八條、二十九條、別
ニ御説ハ無イノデスカ、二十九條ハ少シ修正ニナッテ居リマス……先ニ進ンデ宜シウゴザ
イマスガ、藤田君ノ御説ハ別ニ御賛成モ無イ様デゴザイマスカラ先ヘ進ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔書記朗讀〕

第三十條 抵當權設定ノ登録ハ鐵道抵當原簿ニ左ノ事項ヲ記載スルニ依リテ
之ヲ爲ス

一 第十二條第二項第一號乃至第五號ニ掲ケタル事項

二 免許ニ附シタル條件

三 抵當權ヲ設定シタルコト

四 抵當權設定認可ノ年月日

五 登録ノ年月日

第三十一條 第二項第一號及前項第二號ニ掲ケタル事項ハ第二以下ノ順位ノ抵
當權ニ付テハ之ヲ登録スルコトヲ要セス

第三十二條 登録シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其ノ事項消滅シタルトキハ當事者
ハ遲滞ナク變更又ハ消滅ノ登録ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ變更又ハ消滅ノ事由ヲ記載シ之ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
變更又ハ消滅カ主務官廳ノ命令又ハ認可ニ因リテ生シタル場合ニ於テハ前項ノ
證明書ハ之ヲ添附スルコトヲ要セス

第三十三條 同一ノ債權ノ擔保トシテ數箇ノ鐵道財團ノ上ニ抵當權ヲ設定シタル
場合ニ於テハ其ノ各鐵道財團ノ用紙ニ他ノ鐵道財團ヲ表示シ之ト共ニ抵當權
ノ目的タル旨ヲ記載スヘシ

他ノ鐵道財團ニ關スル變更又ハ消滅ノ登録カ前項ノ記載ヲ變更スルコトヲ要スル
ニ至リタルトキハ其ノ記載ニ變更ヲ附記シ他ノ鐵道財團ニ關スル消滅ノ登録カ前
項ノ記載ヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ記載ヲ抹消スヘシ

第三十三條 鐵道抵當原簿ニ抵當權ノ設定ヲ登錄シタルトキハ鐵道財團目錄ニ爲シタル記載ハ登錄ト同一ノ效力ヲ生ス

○政府委員(吉村源太郎君) 修正ニナリマシタ第三十條ノ第一項ノ第一號ノ「第十二條第二項」ヲ「ゴザイマス、十二條」ハ前ノ修正ノ結果「七條」ニナリマス、第二項ニモ同ジク「第十二條第二項」ト「ゴザイマス、是モ」第七條第二項「ニナリマス」

○副委員長(子爵堀田正養君) 如何デゴザイマス、是ハ詰リ原案ノ通りニナッテ居リマスガ、御異議が無ケレバ先ニ進ミマス

○都筑馨六君 舊三十四條ノ末項「ゴザイマスガ」前項ノ證明書ハ之ヲ添附スルコトヲ要セス併ナガラ申請ハシナケレバナラヌ様ナ主義ニ出來テ居リマスガ、苟モ變更又ハ消滅ガ主務官廳ノ命令ニ因リテ生ジタ場合ニハ職權ヲ以テ登錄スル様ナ工夫ハ付ケテ御ヤリニナル譯ニハ行カナインデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 此舊三十一條即チ二十八條「ゴザイマスガ、此條ニ依リマシテ登錄ハ總テ當事者ノ申請ニ因テ爲シマス主義ヲ採ッタ」デゴザイマスカラ、強制競賣ノ如キ職權ヲ登錄セシヤナラヌト云フ様ナ場合ノ外ハ成ルベク當事者ノ處分ニ任セマスガ原則ニ合ヒマスコト、ナルノデ、三十四條ノ三項モ矢張り其コトヲ認メタ主意デアリマス

○都筑馨六君 併シ三十四條ノ末項ハ少シ違フノデスカ、主務官廳ノ命令ニ因リテ生ズル場合ガアル、ソレダケガ稍、穩ナラヌカノ様ナ感ジガシマスガ、別ニ差支ナイノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 詰リ認可ニ因リマシタ場合デモ登錄ノ上カラ申シマスルト、命令ニ因リマシタ場合ト違ヒハ無イ考デゴザイマス

○副委員長(子爵堀田正養君) ソレハ先ニ進ミマス、御異議が無ケレバ……

〔書記朗讀〕

第三十四條 鐵道財團目錄ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其ノ事項消滅シタルトキハ會社ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ツヘシ

前項ノ届書ハ鐵道財團目錄ニ編綴スルニ依リテ前條ノ效力ヲ生ス

第三十五條 一用紙ノ抵當權ノ登錄力全部抹消セラレタルトキハ主務官廳ハ其ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

○都筑馨六君 此三十四條ノ「編綴スル」ト云フコトハ、是ハ官ノ方デスル仕事デアリマセウガ、届出タ時ニ效力ヲ生ジサシテ惡ルイデアリマスガ、届出カラ編綴ノ間ニ或ハ誤ッテ火事ニ掛ラヌトモ限ラナイ、随分一私人ハ迷惑ナ場合ガ時々生ジハセヌカト疑ヒヲ抱キマスガ、編綴ト云フハ綴リ込ムノデアリマセウケレドモ、綴込ミガ直グニ行ク場合ト行カヌ場合トアリハシマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御尤ナ御尋デアリマスガ、届出ガアリマシテモ直チニ財團ニ屬スルト云フ譯ニハ參ラヌノデ、詰リ主務官廳ノ方デ届出ヲ調査シテ果シテ財團目錄ニ記載シタ事項ニ變更ヲ生ジテ居ルノデアルカ、或ハ又其事項ガ消滅シタノデアルカト云フ判斷ヲシナケレバナラヌノデアリマス、若シサウデナイ場合デアレバ届出ヲ差戻スト云フ手續モシナケレバナリマセヌ

○都筑馨六君 サウスレバ其編綴シタ瞬間ハ利害關係人ハドウシテ知ルノデアリマスガ

○政府委員(齋藤十一郎君) 利害關係人ハ何時ニテモ財團目錄ヲ閱覽スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、ソレハ元ノ四十一條ニ規定シデアリマス、ソレデ見ルコトガ出來マス

○都筑馨六君 唯其恐レマスノハ利害關係人ガ抵當ノ中ノ品物ナリ地面ナリ、品物が抵當ノ財産ノ中ニ這入ッタトキヲ抵當權者モ知ラナケレバ申請者モ知ラナイノデスカ、略ハハ分リマセウケレドモ、今日行ッテ見タラ這入ッテ居ッタカラ多分昨日入レタノデラウト云フ、多分ハ分リマセウケレドモ、破産ヤ何カノ時ニ於テハ随分是ハ多分デハ……満足セヌ場合ガ出テ來ヤシマセヌカ、満足シナイト云フト、利害關係者デハナイ、公安ノ爲ニ満足スベカラザル場合ガアル……

○村田保君 此モ此所ハ少シドウ云フモノデラウカト思ッテ居リマスガ、是デ見マスト會社ニ何時其書面ヲ回サレルカ分ラヌ、一向變更シタコトガ效力ヲ生ジタカ生ゼヌカト云フコトハ何時マデモ不安心ニナッテ居ラナケレバナラヌ、ソレヲ編綴シタト云フコトハ會社ニ通知スルト云フヤウナ方法ガアレバ宜シウゴザイマスガ、一々ソレヲ見ニ行クト云フコトハ、ソレハ随分遠方ノ會社ナドハ随分困ルコトガアリヤシナイカト思ヒマス、何ッシテ其外ノ會社ナラ會社ニ知ラシヤルト云フ方法ハ無イノデゴザイマセウカ

○都筑馨六君 丁度私モ村田サンノ御腹案ノ如キ制度ヲ設ケラレムコトヲ希望イタシマス、之ヲ認可スルコトカ通知スルコトカ何トカ云フコトガ無イト、ハッキリ分ルマイト思ヒマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 其點ハ熟考ノ上ニ細則デ極メマスコトニ致シマス

○都筑馨六君 是ハ細則デハ行ケマスマイカト思ヒマス、效力ヲ生ズル瞬間デアリマスカラ、通知シタ時カラ效力ヲ生ズルコトカ或ハ認可シタ時ニ效力ヲ生ズルコトカ云フナラ宜シウゴザイマスガ、編綴シタ時カラト云フコトハ村田サンノ御考ヲ推シテ行クト穩ナラヌト云フコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、如何デアリマスガ、村田サン……

○村田保君 私モ知ラシヤッタ宜イト思ヒマス……

○政府委員(齋藤十一郎君) 此編綴ノコトニ付キマシテハ細則デ詳細ナ手續ヲ定メル考デ居ッタノデアリマス、詰リ編綴ヲシマシテモ唯綴ルト云フダケデハ無イノデアリマシテ、其間ニハ或ハ編綴シマシタ年月日ヲ書キマストカ、或ハ當該官吏ガ署名シマストカ、サウ云フ詳細ノ手續ハ細則ノ方ニ議ル考デアリマス

○藤田四郎君 此ハチヨット御尋シテ置キタイト思ヒマスガ、編綴スルニ付キマシテハ或ハ速ニ編綴スルトカ云フヤウナ登錄ノ方ノ側ノ義務ヲ此處ニ一ツ載セマシテ、サウシテ其效力ノコトヲ更ニ載セルコトニナリマシタラ如何ノモノデアリマセウカ、其上ノコトハ細則デ拵ヘテモ宜イヤウニ思ヒマスガ、詰リ届出ガ出レバ直チニ編綴スルト云フコトノ意味合ノコトヲ載セマシテ、サウシテソレガ編綴ニ依ッテ效力ヲ生ズルト云フ二ツノ事柄ニナラナケレバナラヌト思ッテ居リマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 御尤ナ御考デアリマスガ、三十四條ノ第二項デ當然編綴ノ義務ガ有ルモノト云フ考デアリマス

○都筑馨六君 編綴ノ通知カラ效力ヲ生ゼザル譯ニハイカヌカ、或ハ編綴ヲ公ニシタトキカラ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 此財團目錄ト云フモノヲ設ケマシタノハ詰リ之ヲ以テ抵當原簿ニ同ジダケノ效力ヲ持タセル、抵當原簿ニ於キマシテ總テノ細カイモノマデ載セ

ルコトハ出来ナイカラ、ソコで鐵道財團ヲ設ケル、ソレニ記載セラレタモノヲ抵當原簿ニ載セラレタト同ジデケノ效力ヲ與ヘル次第アリマス、詰リ是ハ登錄ト同ジヤウナ意味デ登錄ハ通知ニ依ッテ效力ヲ生ズルノデハナクシテ、登錄ニ依ッテ直チニ效力ヲ生ズルト同ジヤウニ矢張り是モ財團目錄ノ編綴セラレタトキニ效力ヲ生ズルヤウニシテ置クノ鈞合ガ宜カラウ、通知スルコトハ實際ノ手續トシテ設ケルコトハ宜カラウト思ヒマス、ソレヲ效力ヲ持タセルノハ如何デアラウカ、唯當事者ナリ利害關係人ナリニ知ラセルト云フ目的ノ通知デアリマスレバ細則ヲ設ケテ差支ナイト考ヘマス

○藤田四郎君 サウスルト政府ヲ通知スルト云フコトニシテ細則ハ必ズ御拵ヘニナリマスナ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ細則ニ定メマス

○副委員長(子爵堀田正養君) 先キヘ進シテ宜シウゴザイマスカ

○都筑馨六君 宜シウゴザイマス

(書記朗讀)

第三十六條 左ノ場合ニ於テハ主務官廳ハ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知シ且第一號及第三號ノ場合ニ於テハ官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ

一 第一順位ノ抵當權ノ設定ヲ登録シタルトキ

二 不動産ニ關スル權利カ新ニ鐵道財團ニ屬シタルトキ

三 鐵道財團ノ用紙ヲ閉鎖シタルトキ

前項第二號ノ通知ハ新ナル管轄登記所ニノミ之ヲ爲スヘシ

○都筑馨六君 此所ヘ第一順位ノ抵當權ノ設定ヲ記載サレテ第二順位以下ノ設定行爲ノ公告モ何モシナイト云フノハ變ナヤウニ思ヒマスガ、ソレニモ一ツハ新ニ鐵道財團ノ不動産ニ關スル權利ヲ新ニ鐵道財團ニ屬シタルトキ財團目錄ノ變更ノアツタ時ハチットモ官報ニ出サナイ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ財團ガ設ケラレタト云フコトヲ知ラセル主意デア

ノデ、第一順位ノ抵當權ガ設定セラレマス、ソレト同時ニ財團ガ出来マス、財團ガ出来タト云フコトガ分デ来マスレバ其以後、第二、第三ノ抵當權ガ附イタルト云フコトヲ登記所ニ知ラセル必要ガ無い、詰リ財團ガ出来タ、從デ或ル不動産ナリ動産ガ財團ニ屬シタルト云フ……殊ニ動産ガ財團ニ屬シタルト云フコトハ登記ニ關係有ツ、ソレカラ第二號ノ方ハ第一順位ノ抵當權ガ出来タ場合ニハ或ル登記所ノ財團ノ不動産ハ之ニ屬シテ居ラス、サウ云フ場合ハ第一號ノ通知ガ行ッテ居リマセヌカラ、オ前ノ所ノ管轄區域ノ不動産ガ鐵道財團ニ屬シタルト云フ事實ヲ新ナル管轄所ニ知ラセザル必要ガアルノデ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、公告モ矢張り其意味デアリマス、財團ガ出来タト云フ事實ヲ知ラセル、出来タカ若クハ消滅シタルト云フコトヲ……

○藤田四郎君 管轄登記所ノコトデアリマスガ、是モ一應伺ッテ置キマスガ、是ハ主務官廳ハ其關係ノ登記所ヘ全體ノ通知ヲセラル、ノデ、各個各不動産ニ付テ別々ニセラ

ル、ノデハ無イデラウト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御問ノ前段ノ通りデ、即チ全體ニ付テ通知ヲ致スノデアリマス

○都筑馨六君 此三號ヲ削ラレタノハドウ云フ理由デゴザイマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 三號ヲ削リマシタルハ、詰リ是マデ鐵道財團ニ屬シテ居ッタ不動産ガ之ニ屬セナイ場合ニナッタ此時ニハ是マデハ通知ヲスルト云フ原案デアリマシタルデスガ、主義ガ改マリマシタルカラシテ、斯ウ云フ必要ガ無クナリマシタルデアリマス

○都筑馨六君 ドウ云フ譯デス

○政府委員(一木喜徳郎君) 此原案ハ關係ノ土地ニ付テ一筆一筆ニ調ベル積リデアツタ、ソレデカラ苟モ或ル不動産ガ鐵道財團ノ外ニ出ル時ハ一々知ラサネバナラヌデアツタ、併シ今度ハ一々ノ土地ニ付テ登記ヲ換ヘルト云フ必要ハ無い、詰リ財團ガ設ケラレタト云フコト、ソレカラ財團ガ無クナッタト云フコト、其單純ナ事實ヲ知ラセテ置カバ宜イト云フ考デアリマス

○都筑馨六君 サリナガラ此第二號ノ如キハ不動産ニ關スル權利ガ財團ヲ設ケタル後、新ニ鐵道財團ニ屬シタルト云フ意味デアラウト思ヒマス、然ラバ不動産ニ關スル權利ガ鐵道財團設定後、新ニ存立シタル時ハ矢張り之ヲ掲ゲラレテ相當デアラウト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 若シ必要ガ有ルトスレバ斯ウ云フ場合デケル或ル登記所ノ管轄區域ニ於ケル不動産ノ全部又ハ一部ガ除ケラレタル時ニ必要ガアル

○都筑馨六君 詰リ線路ノ附換ナド、今マデ財團ニ屬シテ居ッタモノガ、マルデ出テ仕舞ッテ、新タナ不動産ガスカリ這入ッタト云フヤウナ場合ニハ矢張りソコヘ出タモノモ書入レ、這入ッタモノモ書入レル必要ガ有リサウナモノデゴザイマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 出タリ這入ッタリシタル土地ニ付テ一筆一筆ニ登記ハシナイ積リデアリマス、唯或ル鐵道財團ガ出来タト云フ場合ニハ其同一權利者ニ屬シマスル所ノ不動産ノ登記ハ申請者ノ方カラ證明ヲシテ来ナケレバ……鐵道財團ニ屬シタルト云フ證明ヲシテ来ナケレバ登記ヲシナイト云フコトデアリマス、登記所ニ於テ一筆一筆ニ登記ヲシタル、又新ニ登記ヲスル必要ハ無いデアリマス

○都筑馨六君 ソレハ初テ作ル時ハ無論其通りデアリマスケレドモ、出来タ後ニ新シイ地面ヲ買ッテ財團ノ中ニ入レル、ソレカラ出来タ後ニ今マデ這入ッテ居ッタ地面ヲ出ストカ云フ時ニ、何ゾ出シタルカ入レタルカ云フコトノ、ハッキリシタ何ガ無クテハナラヌト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 入レル時ニハ當然是ハ屬スルト云フコトニナル

○都筑馨六君 イヤ、コ、デ主務官廳ハ其旨ヲ登記所ニ通知スルノデセウ、サウシテ官報デ公告スル、新ニ這入ッタ時ニモ出タ時ニモ矢張りサウデモシナケレバナラヌ

○政府委員(一木喜徳郎君) 二號ハ前ニモ申シタル通り一ツノ土地ガ屬シタルカ必ズ一々知ラセル意味デナクシテ、今マデ全ク關係ノ無カッタ登記所ニ今度關係有ツト云フ場合デケニ知ラセル積リデゴザイマス、ソレカラ三號モ其鈞合カラ申スト或ル登記所ノ管轄區域ニ屬スル全部ノ土地ガ財團ニ屬セナイ時ハ知ラセズニ置イテ宜イカモ知レマセヌガ、此方ハサウ云フ必要ハ無いト思ヒマス、別段之ヲ知ラセテ置カナケレバ差支ヲ生ズルト云フコトハ無い

○村田保君 是ハ文字上ノコトデアリマスガ、此末項ヘ「前項第二號ノ通知ハ」ト末項

「書クヨリハ矢張り初ニテモ書イタ方宜イヤウニ思ヒマス」「官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ」トアル、其下ヘ「第二號ノ通知ハ新ナル管轄登記所ノミ之ヲ爲スヘシ」トシタ方宜イト思フ、ドウモアトヘ書クト今マデノ管轄登記所ニ通知ヲシタ上ニ新ナル所ヘモ通知ヲスルヤウニ見エルデスガ、是ハドウ云フモノデセウカ、前ノ方ヘ書イタ方宜イ、新ナル管轄登記所バカリト云フナラバ前ヘ書イタ方宜クハナイカト思ヒマス、如何デアリマスカ
○政府委員(一木喜徳郎君) 新ナル管轄登記所ト云フコトヲ此所ヘ書キマシタノハ……

○村田保君 サウデハナイ、唯文字ノ書キ方デス、別行ニシテ末項ヘ舉ゲルヨリハ前ノ所ヘ其事ヲ掲ゲタ方宜クハナイカ、文字上ノコトデゴザイマスガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 一項ノ方ヘ掲ゲルノハムツカシイノデス

○村田保君 「官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ」ノ下ヘ「第二號ノ通知ハ新ナル管轄登記所ノミ之ヲ爲スヘシ」斯ウシタ方宜クハナイカト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) ドウモ分リ惡イヤウデアリマス

○藤田四郎君 「新ナル」ト云フ意味ガチヨット分リ惡イ

○村田保君 第二號ノ新ニ不動産ノ權利ガ鐵道財團ニ屬シタル時ニハ其新ナル管轄登記所バカリニヤルノデセウ、今マデノ登記所ハ要ラナイ、サウデセウナ、今度新規ニ出來タ登記所ダケニ通知ヲシヤウト云フノデ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 前ニ一度通知ヲ受取ッテ居ル登記所ニハ二度ノハ要ラナイ

○村田保君 ソレダカラ前ニ書イタ方宜クハナイカト思ヒマス

○都筑馨六君 サウセヌト今私ノ言ッタヤウナ疑ヲ素人ハ起ス

○村田保君 サウデナイト都筑サンノヤウナ議論ガ出ハシナイカト思フ、前ノ登記所ニヤッテ又新ナル所ニヤルヤウニ見エル、ソレデ前ノ方ヘ掲ゲテ置ケバ能ク分リハシマセヌカ、第三號ノ場合ニ於テハ官報ヲ以テ何スル、二號ハ新ナル登記所……

○都筑馨六君 第一順位ノ抵當權ノ設定ヲ登記シタトキハ新ナル管轄登記所ト云フノハドウ云フ意味デス

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレダカラ第一順位ト云フノハ一ツニ書キ惡イ

○藤田四郎君 是ハ主務官廳ガスルノデアルカラ、主意ガ極メテ居レバ、ソレデ宜イダラウ

○副委員長(子爵堀田正養君) 如何デス、マダ何カ御質問ガアリマスカ

○村田保君 唯文字上ノ話デ、書キ方ガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 村田サンノハドウ云フノデ……

○村田保君 前ノ「官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ」其下ヘ「第二號ノ通知ハ新ナル管轄登記所ノミ之ヲ爲スヘシ」……

○藤田四郎君 「公告スヘシ」ト「爲スヘシ」トハ事柄ガ違フ

○村田保君 主務官廳ハ新ナル登記所ヘ通知シロ、其上ニ第一號ト第三號ダケハ官報ヲ公告スル、第二號ノ分ハ唯新ナル登記所ノミニ通知スレバ宜イト云フコトヲ初ニヤッタ方宜クハナイカト思フ

○藤田四郎君 村田サンノ言ハル、ヤウニスレバ通知スト云フ後トニ入レナケレバナラヌ、三十六條ノ初ノ所ニ入レ、バマダ宜イデセウガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 初ノ「通知スヘシ」ト云フ中ニハ第二項ノ場合モ含シテ居ル、詰リ二項ハ但書ノヤウナモノデス

○村田保君 前ニ含シテ居ルノデスカ、私ハ含シテ居ナイト見テ居ッタ

○政府委員(一木喜徳郎君) 第一號ノ直ニ其旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ、此中ニハ第二ノ場合モ含シテ居ル、即チ但書ノヤウナ意味ヲ第二項トシテ加ヘタノデアッデ「左ノ場合」ト云フ中ニハ一二三皆含シテ居ル

○藤田四郎君 ケレドモ取除ノ積リデゴザイマセウ

○政府委員(一木喜徳郎君) 取除クト云フノハ第一項ヲ見マスト廣ク見エルケレドモサウデナイ、新ナル管轄所ノミニヤレバ宜イト云フノデス

○藤田四郎君 是ハ二讀會マデニ御考ヲ願ッテ置クコトニシタイ

○村田保君 斯ウ書イタラ前ノ方ノ登記所ニ通知スルニハ及バナイ、唯新ナル登記所ノミニ通知スレバ宜イト云フコトニナル、ドウモ「ノミ」ト云フコトヲ書クト工合ガ惡イ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレデハ斯ウ云フ意味デハドウデゴザイマス、チヨット皆サンニ御意見ヲ伺ヒタイ、此第一項ノ「左ノ場合」ニ於テハ主務官廳ハ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知シ且第一號及第三號ノ場合ニ於テハ官報ヲ以テ其旨ヲ公告スヘシ但第二號ノ場合ニ於テハ……

○都筑馨六君 ソレヨリハ但書ニ管轄登記所ニ通知スヘシ第二號ノ場合」ト云フコトヲ書イテ、ソレカラ官報公告ノ場合ヲ書ク……

○副委員長(子爵堀田正養君) ソレデハ二讀會ノトキニヤリマスカ

○藤田四郎君 ソレハソレデ宜イ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレデハ整理ノトキニ御譲リヲ願ヒタイ

○副委員長(子爵堀田正養君) 先キニ進ミマス

(書記朗讀)

第三十七條 登記官吏カ前條第一號又ハ第二號ノ通知ヲ受ケタルトキハ第三號ノ通知ヲ受ケル迄ハ鐵道財團ノ所有者ニ屬スルモノニ付所有權以外ノ物件、賃借權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス但シ所有權以外ノ物件、賃借權又ハ差押假差押若ハ假處分ノ目的タルモノカ主務官廳ノ證明書ニ依リ鐵道財團ニ屬セサルコト明白ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 何人ト雖鐵道抵當原簿及鐵道財團目錄ノ閱覽ヲ請求シ又ハ手數料ヲ納付シテ、鐵道抵當原簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

手數料ノ外郵送料ヲ納付シテ鐵道抵當原簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ有

第三十九條 鐵道抵當原簿ノ調製、鐵道財團目錄ノ様式其ノ他登錄ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ定ム

○都筑馨六君 此三十七條ノ書キ方デアルト所有權ハ登記ヲシテモ構ハヌノデスカ
○政府委員(齋藤十一郎君) 所有權ノ移轉ハ登記シテモ差支ナイノデアリマス、併ナ

ガラ所有權ヲ移轉スル場合ハ二ツニ別ケテ見ナケレバナルマイト思ヒマス、一ツノ場合ハ詰リ鐵道抵當法ニ反シテ所有權ヲ移スト云フ場合、ソレカラモウ一ツハ財團全部ヲ他ノ會社ニ讓渡スルコト云フ場合ニ個々ノ所有權ヲ移スト云フ二ツノ場合デアラウト思ヒマスガ、前ノ方ノ規定ニ反シテ即チ新シイ九條デアリマスガ、ソレニ反シテ所有權ヲ移シマシタ場合ニハ其讓渡ハ無効デアリマスカラ、是ハ何人カラデモ……何人ト申スハ利害關係人デアリマスガ、利害關係人カラ抹消ノ申請ガ出來マシテ抹消ガ出來ルノデアリマス、サウ云フ趣意デ此三十七條ノ規定シタノデアリマス

○都筑馨六君 抹消ガ出來ルト矢張り登記ヲシテモ構ハヌノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様デゴザイマス

○都筑馨六君 是ハ斯ウ云フコトヲ御許ニナル必要ガアルノデスカ、財團ニ屬シテ居ルモノハ財團目錄トシテ鐵道原簿ニ登錄シテアル、サウシテ其所有權ヲ別ニ登記スル必要ガ何ザアリマスノデゴザイマスガ、其登錄原簿ニ登錄ノ外ニ登記ヲ尙許ス必要ガアルノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 鐵道財團ノ登錄ト申スコトハ申スマデモナク財團トシテノ登錄デゴザイマス、登記ノ方ハ此處ノ不動產ニ付テハ登記デゴザイマスカラ、マルデ目のガ違フノデアリマスカラ登錄ノ制度ガ認メラレマシテモ登記ノ制度ガ當然不要ノモノニナッテ仕舞フト云フコトニハ相成ルマイト思ヒマス

○都筑馨六君 唯疑ヒマスノハ假處分ナリ差押ナリ又ハ他ノ物上權ナリニ付テハ登記ハ全然無効ニナッテ、シカモ登記ヲスルコトハ出來ナイノニ所有權ニ付テハ登記ガ無効ニナラヌト云フ理由ガ能ク頭ニ這入リマセヌノデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 此所有權ノ移轉ヲ登記セヌト云フコトニナリマスルト正當ノ權限デ所有權ヲ移轉セシメマシタ場合ニ其登記ガ出來ナクナルト云フコトニナルノデゴザイマス、是ハ一般的ニ禁ズルト云フコトハイケマイト思フ

○都筑馨六君 ソレハサウデスカ登記デス、登記ガ何故ニ他ノ物上權ニ付テハ登記ヲ禁ジテ居ル、所有權ト云フ一番大切ナ權利ニ付テハ其登記ヲ有效ノモノトシテ矢張り尊重シテ維持シテ行カレルト云フ理由ガチヨットハッキリシナイノデス

○政府委員(齋藤十一郎君) 鐵道財團ノ設定ト云フモノヲ認可シマシタ以上ハ個々ノ物ヲ讓渡スルコトガ出來ヌト云フノガ九條ノ規定デアリマス、此規定ニ依リマシテ讓渡ヲ禁ジテ居ルノデゴザイマスカラ此場合ニモ拘ラズ尙讓渡ヲスルト云フ場合ハ餘リ數ガ多ク無カラウト云フ考デアリマス、是ハ其當事者ノ申請ニ依ッテ抹消ノ手續ヲシマシテモ極メテ稀ナコトデアアルマイカ、サウ云フ考デアリマス

○都筑馨六君 サリナガラ個々ノ物ニ付テ讓渡ナリ或ハ他ノ物上權ノ設定ハシテ置イタ、私ハ其個々ノ物ニ付テハ他ノ物上權ノ設定サハ禁ジテ居ラレルノデアリマスカラ、所有權ノ讓渡ヲ許サレル理由ガ分ラヌノデアリマスケレドモ、ソレハ暫ク措イテ財團ニ屬シタ以上ハ財團ノ所有者ノ變ルコトハ御許ニナルデアラウト思ヒマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 御問ノ趣意ハ能ク分リマシタ、財團ハ成ルホド財團トシテ讓渡ヲ許シテアルモノデゴザイマスガ、財團ノ讓渡ト云フコトハ取リモ直サズ其財團ニ屬シテ居リマスル個々ノ不動產ノ讓渡トモ相成デアラウト信ジマス、其場合ニハ讓渡ノ登

記ヲスルト云フコトハ當然ノコトデアラウト考ヘマス

○都筑馨六君 然ラバ其場合ニ財團ヲ權兵衛ガ持ッテ居ッタモノヲ八兵衛ガ其財團ヲ買受ケタ、サウスレバ今マデ權兵衛ノ持ッテ居ッタ土地ノ所有權ハ總テ八兵衛ニ移ルト云フノニ、何故ニ此賃借權ヤ何カハ移ッタモノト見ラレヌノデアリマスガ、土地所有權ニ登記ヲ許サル、ナラバ他ノ所有權ニ付テモ登記ヲ要求スレバ許サレテモ宜サウニ思フ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ其所有者ニ屬スルモノニ付テ是等ノ登記ヲスルコトガ出來ル、斯ウ云フ意味デアリマス、今ノ御話ノ賃借權ソレ自身ガ鐵道財團ニ屬シテ居ル場合デアラウト思ヒマス、ソレハ茲ニ規定シテアル所ノ範圍外デアアル、賃借權ニ付テ更ニ差押トカ假差押トカ斯ウ云フモノガアルトスレバサウ云フ登記ハ出來ヌ、賃借權ソレ自身ハ財團ニ屬シテ居ルモノデアアルカラ、ソレノ移轉ニ付テハ登記ガ出來ル

○都筑馨六君 所有權以外ノ物權、賃借權

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ「所有者ニ屬スルモノニ付」デアアル、第三條ニ列記シテアル如ク賃借權ノ如キハ此中ニ含マレテ居ル、第二條ニ屬スルモノソレ自身ニ付テハ登記ハ出來ル、唯三條ニ屬スル所ノ不動產ナリ又ハ不動產上ノ權利ニ付テ是ノ登記所ハ出來ナイ、斯ウ云フノデス

○都筑馨六君 サウスルト斯ウ云フ御解釋デスカ、所有者ニ屬スルモノニ付テ他人ガ持ッテ居ル物權、賃借權、サウスレバ其解釋ヲシテ行クト斯ウナル、所有者ニ屬スルモノニ付キ他人ガ持ッテ居ル所有權……

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハサウデハナイ、ソレハ地上權トカ、或ハ永小作權トカ先取特權トカ何トカ云フコトヲ言表ハス爲ニ「所有權以外ノ物權」トナッテ居ル、ソレヲ尙細カニ書碎イテ見レバ地上權トカ永小作權トカ先取特權トカ何トカ云フコトニナル

○藤田四郎君 チヨット同ヒマスガ、實際ニハ何デゴザイマセウナ、鐵道財團ニ屬スル地面デ、假ニ財團ニハ屬シテ居ルケレドモ其所有權ハ鐵道會社以外ノ人ニ屬シテ居ル場合ガアルト云フ場合ノコトヲ言ハレノデアラウト思フ、詰リ會社ソノモノガ持ッテ居ル所有權ニ付テテナラバ即チ第九條ノ原則ガアルモノデアアルカラ無論行カナ、サウ云フ譯ナノデゴザイマセウナ

○政府委員(齋藤十一郎君) 鐵道財團ニ這入ッタモノデナクテ、サウシテ其所有權ガ會社以外ノ者ニ屬シテ居ルト云フコトハ此法案デハ認メテ居ラヌ積リデアリマス

○都筑馨六君 ソレハ隨分澤山アリハシマセヌデスカ、例ヘバ鐵道ノ何ノ敷地、是ハ軌道條例ノ方ニ這入リマセヌケレドモ停車場ノ敷地ダトカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 少シ言葉ガ足ラナクッタカモ知レマセヌガ、鐵道會社ノ所有地トシテ詰リ他人ノ所有地ガ財團ニ屬スルト云フヤウナコトハ認メテ居ラヌ積リデアリマス

○都筑馨六君 ソレハサウダラウ

○藤田四郎君 私ガ申シマシタノハ鐵道財團ニ屬シテ居ル所有權トカ何トカ云フモノデアリマスレバ、鐵道財團目錄ニ這入ッテ居ルモノデアッテ即チ其權利ハ他人ニ讓渡スルコトハ出來ナイ、併ナガラ例ヘバ或ル線路ノ地面ノ中ヲ鐵道會社ガ借りテ財團目錄ノ中ニ這入ッテ居ル、併ナガラ其所有者ハ政府デアルトカ他ノ者デアルトカ云フ場合ニハ外

ニ行クコトハ出來ヌト云フ爲ニ斯ウ云フ書キ方ニナツタモノト思フ居タノデス

○政府委員(齋藤十一郎君) 此三十七條ハ是ハ全ク所有權ガ會社ニ屬シテ居リマ

スルモノニ付キマシテ他ノ物權、他人ガ其物ノ上ニ持ッテ居ル權利ノ登記ハシナイ、又會社ニ所有權ノアルモノニ付テ差押、假差押、假處分ハ出來ヌ、斯ウ云フ主意アリマス

○藤田四郎君 ツレハ分ッテ居リマスケレドモ、畢竟言ヒマスルト所有權ノアルモノニ付テ之ヲ他ニ讓ルコトハ出來ヌト云フ原則ガモウ出來テ居ル、ツレデアリマスルカラ詰リ實際ニ起ル場合ハドシナ場合カト申シマスルト此意味ハ是デ能ク分ッテ居リマスガ、裏カラ見マスルト所有權ハ他ノ人ニ屬シテ居ッテ、ツレハ鐵道ノ使用上カラ財團目錄ニハ這入ッテ居ッテモ、然レドモ其所有權ハ側ニ讓ルコトハ恐ラク無イノデアリマスカラ、斯ウ云フ意味ガ必要アルト云フ爲ニ斯ウ云フ書キ方ニナツタモノト思フ居タノデス、誤解カ知レマセヌガ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 要シマスルニ第四條ノ第二項ニ依リマスルト鐵道財團ニ屬シテ居ルモノニ付テハ他物權ヲ設定シテハイカス、ツレカラ差押、假差押、假處分ノ目的トナシテハイカス、斯ウ云フコトニナツテ居ル、此主義カラシマシテ登記ノ手續ノ上ニモ規定ヲスル必要ガアルノデ、三十七條ガ出來マシタ次第アリマス

○藤田四郎君 ツレハ能ク分ッテ居リマスルノデスガ、詰リ裏カラ見マシテ先刻都筑君カラ御尋ガアリマシタ所カラ起ッテ來タノデアリマスガ、其方カラ見マスルト實際ノ場合ハドウ云フ場合カト云フト會社ガ所有權ヲ持ッテ居ルモノニ付テハ即チ本則ニ依ッテ行ケナイノデアリマセウ、實際ノ場合ハドシナ場合カト裏ノ方ヲ見マスルト私ノ申上ケタ事柄ヨリアリハセヌト思ヒマスガ、如何デアリマスカ、效用ハ第四條ノ第二項ノ主意ガ此處ヘ這入ッタニ違ヒナイト思ヒマスガ……

○政府委員(塚田達二郎君) 唯今御尋ノ場合ハ成ルホド御質問ノ通りニ鐵道財團ニ屬スルモノヲ個々ノモノトシテ處分スルコトハ九條デ禁ジテゴザイマスガ、鐵道財團其モノヲ讓渡スルト云フコトハ許スノデアリマス、其鐵道財團トシテ讓渡ノ結果、原簿ニハ讓渡ノ登録ヲ致シマスガ、其登録ノ結果ヲ受ケテ登記簿ノ方ニ鐵道財團ニ屬スル個々ノ不動産ヲ所有者トシテ登記スルノハ妨ゲナイノデゴザイマスカラ、財團ニ屬スルモノハ財團ガ讓ラレタ結果、登記ヲ受ケナケレバナラヌ場合ガアリマスカラ、ツレデ第三十七條ノヤウナ規定カ必要ニナツテ來ルノデゴザイマス

○都筑馨六君 財團ニ屬スルモノト云フノハ、即チ所有權タルモノデゴザイマスガ、若モ所有權ヲ他人ガ持ッテ居テ、サウシテツレガ財團ニ屬スルモノガアツタ場合ニハ其物ニ付テハ何トモ茲ニ規定ガ無イコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 前ニハ所有權ヲ重モニ見テ御答ヲ致シマシタガ、其財團ニ屬スルモノト云フ中ニハ所有權以外ノモノハ含マヌカト云フコトナラバ、第三條ニ依リマシテ、矢張り他人ノ不動産ノ上ニ持ッテ居ル所ノ地上權又ハ登記シタ場合ニハ賃借權モ含ムト云フ考デゴザイマスカ

○都筑馨六君 所有者ニ屬スルト云フノハ必シモ所有權デナクテモ宜シイノデゴザイマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 其通りデゴザイマス、第三條ノ書方ト同ジデゴザイマス

○副委員長(子爵堀田正養君) モウ御意見モゴザイマセヌケレバ第二章ニ移リマス

(書記朗讀)

第三章 強制競賣及強制管理

第四十條 鐵道財團ニ對スル抵當權ノ強制執行ハ強制競賣又ハ強制管理ニ依リテ之ヲ爲ス

抵當權者ハ自己ノ選擇ニ依リ前項ニ掲ケタル一箇ノ方法ヲ以テ又ハ二箇ノ方法ヲ併セテ強制執行ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 抵當證書又ハ信託證書及之ニ記載シタル事項ヲ變更スル契約證書ハ強制執行ニ關シテハ公證人ノ作成シタル債務名義ト看做ス但シ其ノ執行力アル正本ハ主務官廳ノ官吏之ヲ付與ス

第四十二條 強制執行ハ債務者タル會社ノ本店所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第四十三條 強制競賣ノ申立ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ其ノ代理人ノ署名捺印スヘシ

一 債務者タル會社ノ商號及其ノ本店ノ所在地

二 競賣ニ付スヘキ鐵道財團ノ表示

三 競賣ノ原因タル事由

四 年月日

五 裁判所

申立書ニハ執行力アル正本ノ外鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ強制管理ノ開始アリタル場合ニ於テハ鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要セス

第四十四條 強制競賣ノ申立ハ競落期日迄ハ競賣人ノ同意アル場合ニ限り之ヲ取下クルコトヲ得

第四十五條 競賣手續ノ開始ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

開始決定ニハ申立人ノ名稱、住所及第四十六條第二項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ決定ヲ爲シタル判事ノ署名捺印スヘシ

第四十六條 裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ直ニ鐵道抵當原簿ニ競賣申立ノ登録ヲ爲スヘキ旨ヲ主務官廳ニ囑託スヘシ

主務官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ直ニ登録ヲ爲シ其ノ旨ヲ裁判所ニ通知スヘシ

○政府委員(吉村源太郎君) 第四十五條ノ二項ニアル「第四十六條第二項」ノ字デゴザイマスガ、是ハ修正ノ結果、第四十三條第二項ニナリマス

○副委員長(子爵堀田正養君) 第四十五條ノ中デゴザイマスカ

○政府委員(吉村源太郎君) 修正案ノ第四十五條デゴザイマス、ツレノ第二項ニ「第四十六條」トアルノガ、是ハ四十三條ニナリマス

○都筑馨六君 第四十何條マデ問題ニナリマシタカ

○副委員長(子爵堀田正養君) 舊ノ案ノ第四十九條マデ、ソコマデハ總テ原案通りデ修正ハゴザイマセヌ

○古市公威君 第四十七條ニ字句ノ修正ガアルデセウ

○副委員長(子爵堀田正義君) 舊ノ四十九條、新シイ方ノ四十六條マデスカラ、別ニ修正ハアリマセヌ

○都筑馨六君 是ハ入札ノ手續デナケンバドウシテモイケナイノデスカ、入札ノ方法ニ必シモ依ラヌト云フノガ民法ノ競賣ノ手續ニナツテ居テ、入札ヨリハ普通ノ競賣ノ方が權利者ノ爲ニ利益ガアルカラ、他ノ法律ハサウ云フ次第ニナツテ居リマスガ、此法律ニ於テ必ズ入札ノ手續ニ依ラナケレバナラヌト云フノハ何カ是ハ趣意ノアルコトデゴザイマスカ

○政府委員(塚田達二郎君) 此鐵道財團ノ競賣ニ付キマシテ入札ノ法ヲ用井マシタ理由ハ第一ニ鐵道財團ハ比較的、金額ニ積デモ大キナモノデアリマス、デ其大キナ金額デアリマシタナラバ、ツレヲ競賣ノ手續デ競上ゲルト云フコトニナリマシテハ、大分面倒デモアリマス、殊ニ此競賣ニハ成ルタケ手續ヲ簡易ニスルト云フコトカラ、其手續ヲ簡易ニシマスニハ競賣ト云フ競賣リマスヨリモ入札ヲ一本投ジテ済マスト云フ方が便利デア、是ガ第二ノ理由デアリマス、ツレカラ第三ニハ唯競賣リマシテ其所ヘ當事者、競買人ガ集リマシテ幾ラ買フト云フコトヲ自分デ申立テマシテモ、其申立ニ付テ明カナ證據ガゴザイマセヌカラ、競リハ競リテ見タケレドモ、落札スルコトニ極マル場合ニ自分ガ競上ゲテ置キナカラ逃ゲテ仕舞フヤウナコトガ起ラヌトモ言ハレマセヌカラ、申立テ價ニ付キマシテハ明ニ此證據トナル所ノ書面、即チ入札書ト云フモノガアリマスレバ、サウ云フ場合ニ逃ゲル虞モ無シ、法律ニモ一旦入札ヲ爲シタ以上ハ其入札ハ取消スコトハ出來ヌト云フヤウニシテ、當事者ノ意思表示ヲ明確ニ拘束シマスニハ、矢張り入札ノ方法ヲ用井タ方が宜カラウト云フ、此四ノ理由カラシテ入札ノ方法ヲ採ツタノデアリマス

○藤田四郎君 此四十條ノ、即チ一番初メノ條デアリマスガ、第二項ノ「一箇ノ方法ヲ以テ又ハ二箇ノ方法ヲ併セテ」ト云フ書キ工合デアリマスガ、是ニハ何カ例ガアリマセウカ

○政府委員(塚田達二郎君) 是ハ矢張り民事訴訟法ニモ斯ウ云フ例ニナツテ居リマシテ、當事者ノ選擇デ、ドチノ方法ヲ採ツモ宜イ、又同時ニ併セテ二箇ノ方法ヲ用井テ自己ノ強制執行ノ目的ヲ達シテモ宜イト云フ意味デアリマシテ、文例ハ民事訴訟法ニ大體據ツタノデアリマス

○藤田四郎君 四十二條ノ末項デアリマスガ「強制管理ノ開始アリタル場合ニ於テハ鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要セス」トアリマスガ、ドウ云フコトカラ斯ウナツタノデゴザイマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 一旦強制管理ガ開始シマシタ場合ニハ、裁判所ノ方ニ抵當原簿ノ謄本ハ參テ居リマスカラ添附ヲ必要トシナイノデアリマス

○副委員長(子爵堀田正義君) 如何デス、先ヘ進ンデモ宜ウゴザイマスガ、宜ケレバ先ヘ進ミマス

(書記朗讀)

第四十七條 裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ官報ヲ以テ租稅其ノ他ノ公課ヲ主管スル官廳及公署ニ對シ一定ノ期間内ニ鐵道財團ノ所有者ニ對スル權利ノ有無及其ノ限度ヲ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

○都筑馨六君 是ハ原案ノ方が宜クハナイデセウカ「鐵道財團ノ所有者ニ對スル」ト御

變ヘニナルト抵當權ニ對シテノミニナルヤウニ思ヒマスガ、茲デハ抵當權以外ノ債權モ矢張り這入ツテ來ハシマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ租稅其他ノ公課ヲ主管シマス鐵道財團ノ賣得金ノ上ニ持ッテ居リマス配當要求ノ事ヲ規定シタ積リデアリマス「債務者タル會社」ト申シマス、鐵道財團ノ所有者ト債務者ト違ヒマス場合ニ債務者タル會社ニ對スル權利ノ有無ト云フコトニ相成リマシテ、財團ノ所有者ニ對スル租稅ノ事ガ這入ラナクナル虞レガアリマス、ツレデ斯様ニ改メマシタ

○村田保君 此「限度」ト云フコトデスガ、チヨット分リニクイデスガ、權利ノ有無サヘ言ッテ置イタラ宜カリサウナモノ、限度ト云フノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(塚田達二郎君) 限度ト云ヒマスレバ一萬圓ナラ一萬圓ノ租稅ガアリマスレバ、一萬圓ノ價ガアルト云フコトヲ表示サセルノデアリマシテ、權利ノ有無ケデアリマスト租稅ヲ拂ハナイデ居ルト云フコトデアリマシテ、金額ガ分リマセヌカラ金額マデモ明ニサセマス爲ニ「權利ノ有無及其ノ限度」ト權利ヲ行使シ得ルダケノ最大限ヲ示サセル必要ガアリマスカラ、ソコデ限度ト云フコトヲ原案ニ入レタ次第デアリマス

○藤田四郎君 是ハ矢張り民法ニデモアリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ民事訴訟法ニ此通りニナツテ居リマス

○村田保君 此「一定ノ期間」ト云フノデスガ、裁判所ガ一定ノ期間内ニナルト云フノハ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ裁判所ガ其意見デ定メマス期間デアリマス

○村田保君 サウスルト極リハ無イノデスネ、長イ時ハ一年置イテモ半年置カレテモ仕方ガナイノデスネ、民事訴訟法ノ規定ハ、一定ノ期間ト云ヘバタシカ二週間トナツテ居ルト思ヒマスカラ分リマスガ、斯ウ云フ所ノ一定ノ期間デハ分リマセヌデスネ

○政府委員(齋藤十一郎君) 民事訴訟法ノ場合ニ於キマシテモ必シモ二週間ト限ッテ居ラヌヤウニ記憶シテ居リマス、訴訟法ノ規定ニ依リ強制競賣ノ場合ニハ矢張り裁判所ガ自由ノ意見デ期間ヲ定メテ居ルノガ、實際ノ有様デアリマス

○村田保君 期間ノ定メタノハ色マアリマスガ、一定ノ期間ト云ヘバ二週間ヲバ一定ノ期間トシテ居ルヤウデアリマス、其他ニモ二十日モアリマセウ、六十日モアリマセウガ、無イ時ノ場合ハタシカ二週間トナツテ居リマス、一定ノ期間ト云フノヲ裁判所ガ勝手ニヤルコトニナルト困ルデスネ、官署公署ノ通知ヲ受ケルニモ困リマス、凡ソ期限ガ極ツテ居レバ何日目ニアルト云フコトガ分ルガ、是デハ一向分ラナイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 本條ニ該當イタシマス民事訴訟法ノ第六百五十四條ノ規定ニ依レバ「裁判所ハ競賣開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ租稅其他ノ公課ヲ主管スル官廳ニ通知シ其不動産ニ對スル債權ノ有無及ヒ限度ヲ申出ツ可キコトヲ期間ヲ定メテ催告ス可シ」トナツテ居リマスカラ、是ハ裁判所ノ意見デ定メマス期間ト心得テ居リマス

○副委員長(子爵堀田正義君) 如何デス、其他御意見ハアリマセヌカ

○村田保君 是ハ期限ノ定メテ置イテ貰ハヌト、イツ開始ノ決定ニナツタカ分ラヌト思ヒマスガ、豫メ何日ト云フコトニナツテ居レバ宜ウゴザイマスガ、是デハ餘リ漠然トシテ困ルコ

トガアリハシマイカト思ヒマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ如何デゴザイマセウカ、裁判所ト官廳若クハ公署トノ間ノ關係デアリマスカラ、此期間ノ定メ方ノコトハ裁判所ニ一任シマシテモ左ホド不都合ハ生ジマイカト思ヒマス、一般公衆ニ對スルノ違ヒマス

○政府委員(塚田達二郎君) 加之、其決定ヲナシタコトガ分ラヌト仰シヤイマスガ、ソレハ決定シテカラノ官報ノ公告デゴザイマスカラシテ、決定ヲシタト云フコトハ明ニナッデ居リマス、決定ヲシタノデアルカラシテ租稅其他權利ヲ持ッテ居ル者ハ二週間ナラ二週間内ニ申出ヲ爲セト云フコトヲ官報デ示スデアリマセウ、ケレドモ裁判所ガ極ク短イ一日カ二日ト云フコトヲ極メマシタナラバ申出ノ無イ中ニ期間ガ過ギテ仕舞フ虞ガアリマスケレドモ、ソレハ裁判所デアリマシテ適當ノ期間ヲ何レ極メルコトデアラウト信ジマスカラシテ、即チ適當ノ期間ト申シマスルト二週間トカ又三週間トカ宛ニ角ツレガ全國ニ知レ渡ッテ其申出ガ到達スルト云フコトヲ測デ期間ヲ極メルデアラウト思ヒマスカラ「一定ノ期間」ト書イテ置キマシテモ不都合ハ無カラウト考ヘマス

○副委員長(子爵堀田正養君) ソレハ先ヘ進ミマス

(書記朗讀)

第四十八條 裁判所ハ鑑定人ヲ選定シ競賣ニ付スヘキ鐵道財團ヲ評價セシメ其ノ評價額ヲ以テ最低競賣價額ト爲スヘシ

第四十九條 裁判所ハ競賣期日ヲ定メ官報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

前項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 競賣ニ付スヘキ鐵道財團ノ表示

二 競賣期日ノ場所、日時及入札締切ノ時

三 最低競賣價額

四 競落期日ノ場所及日時

五 執行記録ヲ閱覽シ得ヘキ場所

第五十條 鐵道事業ヲ營ム者ニ非スシテ競賣ニ加入スルニハ競賣ニ付セラレタル鐵道ノ營業ヲ目的トシ會社ヲ發起セムトスル者七人以上合同スルコトヲ要ス

前項ニ依リ競賣ニ加入スル者ハ競賣ノ申込ニ關シテハ連帶シテ其ノ責ニ任ス

○都筑馨六君 鑑定人ノ選定ニ付テハ債權者ガ何ゾ異議ヲ申立ツルヤウナコトガ出來ル工合ニナルデアリマセウカ、隨分此最低價額ト云フモノヲ極メテ此最低價額ヲ公告ラシテ而シテ公告マデスルコトニナッテ居ルデアリマスカラ、餘ホド最低價額ト云フモノハ重要ナコトデアラ、動ヤトモスト裏カラ入札者トカ鑑定人等ノ弊害ト云フモノヲ充分ニ監督スルコトノ出來ナイ結果ニナリハシマセウカ、ドツチカ最低價額ヲ公告スルコトヲ罷メルカ、然ラザレバ鑑定人ニ付テ債權者ニモ少シ喙ヲ容レザルモノカ、ドツチカニシナイト債權者ハ往々憐レナ目ニ遭フコトハ無イモノデゴザイマセウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 鐵道ヲ競賣ニ付シマスル鑑定人ノ場合デゴザイマスガ、是ハ申スデモナク土地建物ナドノ鑑定ヲシマス鑑定人トハ違ヒマシテ、頗ル専門ノ知識ヲ有スル人ヲ之ニ選バネバナルマイカト思フデアリマス、マア大概ドウ云フ人ヲ選バネバナルヌカト云フコトハ斯ウ云フ重大ナ競賣事件ニ於テハ債權者ノ意見モ聽キ或ハ會社ナドノ

意見モ聽キ或ハ主務官廳ナドニ照會モ致シマスシ、サウ云フ手段ヲ盡シマシタ上ニ裁判所ガ申請ヲスルノデナケレバ實際選定ガ出來ナイデアラウト思フ、ソレハ實際ノ事實カラ申スデアリマス、ソレ故ニ法文ニ書キ現シマセデモ其事ハ矢張り心配ハアルマイカト考ヘマスノデ、却テ法文ニ資格等ヲ現シマスソレニ羈束サレマシテ、思フヤウニ働ケヌト云フヤウニ相成ルノデ、是ハ何モ別ニ詳細ナ規定ヲ設ケナカッタ譯デアリマス

○都筑馨六君 民事訴訟法ナドノ鑑定人ニ付テハ隨分異議ヲ申立ツル規定モ細カクアツタカト記憶イタシマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 此土地建物ノ競賣ノ場合ニハ鑑定人ノ選任ニ付キマシテ餘リ規定ガ無カッタヤウニ記憶シテ居ルデアリマス

○藤田四郎君 此鑑定人ト云フモノ、數デモ制限ヲ置カヌデ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其數ノコトモ矢張り裁判所ノ意見ヲ定メマシテ差支ナイト存ジマス、何レ申スマデモアリマセウガ、一人ト云フ譯ニハ參リマス、或ハ二人トカ五人トカ、サウ云フ數ノ人ヲ選ンデ鑑定セシムルデ無ケレバ實際ノ直段ガ分ルマイト云フ考デゴザイマス

○都筑馨六君 サウ云フ場合ニ五人デモ選ンデ出シタ場合ニハ多數決ニ依ルノカ、五人トモ意見ガ違ッタ場合ニハドレヲ以テ最低競賣價額ト看做サレマスガ

○政府委員(齋藤十一郎君) ソレハ鑑定人ヲ命ジマス場合ニ矢張り裁判所ガ其方法ヲ定メルト信ジマス

○村田保君 私モ此鑑定人ノコトニ付テハ隨分是ハ何トカ外ニ取締デモアルトカ何カデゴザイマセウ、一方カラ鑑定人ヲ買收スルトカ云フヤウナコトガアリマスカラ、隨分中ニハ不確實ナル鑑定ヲスルコトモ無イトモ言ヘナイデスカ、サウ云フ場合ニ若シ一方ガ買收シテ、サウシテ其利益ノ爲ニ鑑定シテ貰フナドト云フヤウナキニ何ゾ制裁デモ有ルトカ云フコトハ無イデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其點ニ付キマシテハ別ニ規定ハ設ケテゴザイマセウガ、併ナガラ先ホド申シマシタ通り鑑定人ニナルベキ人ハ日本ニ於キマシテモ然ルベキ地位ノアル人ダト思ハレマス、一例ヲ申シマスレバ主務官廳ノ勅任技監ト申シマスガ、サウ云フ人トカ或ハ技師トカ云フ人デアラウト思ヒマス、又會社デアリマスレバ會社ノ社長デゴザイマスルトカ、專門ノ知識ノ有ル社長デゴザイマスルトカ、何レサウ云フ類デアラウト思ヒマスカラ、其人ノ地位名譽カラ申シマシテモ、サウ云フ心配ハアルマイト云フ考デゴザイマスガ、如何ナモノデゴザイマスガ

○村田保君 併ナガラ技師トカ技手トカ云フ者ガ競賣ニ於ケル會社ノ爲ニ不利益ナ人デア、平日其間ニ何ゾ仲ガ惡ルイトカ、アノ人ニ鑑定サレテハ困ル、自分ノ方ニ良イ鑑定人ガアルケレドモ、アノ人ナラバ甚ダ困ル、ト云フコトガ有リハシマセウカ、サウ云フコトハ無イデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其點ニ付キマシテハ必無ト云フコトハ斷言ハ出來ニクイコトデゴザイマスガ、併シ先ホド申シマシタ通り、成ルタケ利害關係人、或ハ主務官廳等ノ意見ヲ徵シマシテ選定スルデアラウト信ジマスカラ、マアサウ云フ眞ハアルマイト云フ見込デゴザイマス

○村田保君 サウシマス社ナラ會社ノ方デ、自分ノ方デ斯ウ云フ鑑定人ガアリマス
カラ、ソレヲ鑑定人ニシテ選ンデ貫ヒタイト云フコトヲ申出スコトハ出來ナイデスナ、アノ人
ニ鑑定サレハ困ル、私ノ方ノ斯ウ云フ技師ナラ宜イケレドモ、アノ人ニ鑑定セラレテヤ會
社ノ爲ニ不利益ダト云フコトヲ申出スコトハ出來マセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) ソレハ明文ハゴザイマセヌガ、注意ヲ與ヘルト云フコトハ
必シモ出來ナイトモ限リマスミト思ヒマス

○村田保君 ドウデセウ、何トカサウ云フコトガ此法律ノ文面ニ少シデモ表ハレルト大變
宜シウゴザイマスガネー、サモナイト是デハドウシテモ裁判所ノ選ンデ鑑定人ノ外ハドウシテモ
外カラ口ヲ出スコトハ出來ナイヤウニ見エデスナ

○都筑馨六君 ソレハ先刻御話ノ官吏ヤ何カハ一方ニ服務紀律ナリ懲戒ナリノ掣肘
的制度ガ整テ居ルカラ制裁ト云フモノガ自ラ有ル次第ゴザイマスガ、民間ニ於ケル社
長トカ何トカ云フモノニナルト随分人情負ケラヌル傾ガ無イトモ限リマスミト思ヒマス、
兎ニ角此鑑定人ニ付キマシテハ債權者ナリ債務者ナリガ多少異議ヲ申立デルコトヲ得
ルヤウニシテ置クカ、然ラザレハ餘リ杜撰ノ鑑定ヲシタ時ノ制裁トカ何トカ云フヤウナモノ
ガ有リマセヌト、或ハ債務者ニ酷ニ當リ、債務者ニ酷ニ當ルト云フヤウナ結果ヲ來ス場
合ガ無イトモ限ラヌト思フ、シカモ此最低價額ヲ公告サレルノデアルカラ之ニ付テモ隨分
弊ガ有ラウト思フ上ニ、鑑定人ニ就テ何等ノ制定ガ無イトモ弊害ガ起ラウト思フ、何ゾ其
制限ハ出來マセヌカ……斯ウ云フコトニハ、出來ナイデスカ、裁判所ガ最低價格ヲ極メ
ル、其參考ニ鑑定人ノ意見ヲ聞クト云フコトニハ、民事ノ鑑定人ト云フモノハ多クハソレ
ナシラウト思フノデス

○政府委員(齋藤十一郎君) 此點ニ付キマシテハ尙熟考シマシタ上、一ツ何トカ申
上ゲマス

○藤田四郎君 此四十九條ノ三號デゴザイマス、是ハ先達デモチヨット此アトノ條デ尋
ネマシタデスガ、載セマシテハ随分入札ノソレヨリ餘計高クナルト云フヤウナコトハナクナッデ
公告シマシタナラバ困リハシマセヌカ、最低價額ハ極メテ置クコトハ無論必要デアリマセウ
ガ公告スルニハ最低競買價額ト云フモノヲ載セナイ方ガ穩カダラウト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 最低競買價額ヲ豫メ示シテ置キマスノハ是マデノ經驗
ニ鑑ミマスト却テ最低價額ヲ秘シテ置クノデ、色々ナ弊害ガ有ルヤウデ、ト云フノハ素ヨリ
秘密ヲ保タナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、動モスレバ秘密ガ漏レルト云フヤウナ所カ
ラ非常ナ混雜ヲ起ス場合モアル、鐵道ノ如キ大キナモノデ競買ニ加ハラウト云フモノハ自
己ニ餘ホド大キナ利害ノ關係ノ有ルモノデスカラ他ニ之ヲ取ラハルト云フヤウナコトノ無イ
ヤウニ素ヨリ加ハル以上ハ自分ノ出來得ルダケノ一パイノ見込ヲ付ケテ入札ニ加ハルデア
ラウト思ヒマス、他ノ小サイモノノ入札ノ如キ弊ハ是ニハ餘リ行ハレ易クハ無カラウ、却ッ
テ最低價額ヲ秘シテ置キマス爲ニ種々不公平トカ何トカ云フヤウナ議論ガ起リマシテ、混
雜スルヤウナコトガ随分アリハシナイカ、寧ろ是ハ公ケニシテ置イタ方ガ却テ弊ガ無カラウ
ト云フノデ、斯ウ云フコトニシタノデアリマス

○村田保君 茲デ入札ト云フ字ガ出テ來タノデアリマスガ、競買ト入札ト云フコトハ私
ハ違フダラウト思ヒマス、競買ヲ直グニ入札ト云フヤウニハ見ラレマイト思フ、ソレデ矢張

リ之ヲ競買及入札トカ云フコトニ……競買ノ中ニ入札ヲ入レルノハ違ヒハシマセヌカ、競
買ト云フノハおしくしよんデスネ、ソレニ入札ヲ入レルノハ違フダラウト思フ

○政府委員(一木喜徳郎君) 文字ノ解釋ニ屬スルコトデスガ、現行ノ競買法ニモ矢
張り入札ヲ一ツノ競買ノ方法トシテ規定シテアルヤウデアリマス、詰リ此案デハ入札ヲ競
賣ノ一ノ方法ト見タノデアリマス

○村田保君 チットバカシクハナイカト思ヒマスガネー、翻譯デモスル時ニ困リハシマス
イカ、競買ト云ヘバ口デ競ルノデ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 競買デモ公賣デモ同シデス、即チ競爭入札ト云フ譯デ
入札デ競ルノデス、併シ文字論デスカラ良イコトナラバ……

○副委員長(子爵堀田正義君) 時間デスガ茲デ休ンデ又午後ニヤッテハドウデセウ

○村田保君 午後二願ヒタウゴザイマスナ

○副委員長(子爵堀田正義君) ソレハ一ツ茲デ休憩シテ尙一時カラヤリマス

午前十一時五十七分休憩

午後一時二分開會

○副委員長(子爵堀田正義君) ソレデハ是ヨリ午前ニ引續キマシテ委員會ヲ開キマ
ス、如何デセウカ、茲デ丁度委員會ノ初ニタシカ藤田君カラ御質問ニナッタ此二十六條
ノ年限ノ「十箇年」ト云フコトニ就テハ政府委員ノ方ニ尙考ヘテ貰フト云フコトデアリマ
シタガ、アレヲ御聞キニナッテハ如何デス

○男爵川口武定君 至極結構デス

○國務大臣(大浦兼武君) 前委員會ノ時ニ古市君カラ即チ藤田君ノ御意見デア
ルト云フコトデ、此元ノ二十九條ノ「十箇年」ノ年限ニ付キマシテ之ヲ二十箇年ニシタイ
ト云フ御意見ハ段々賛成ノ御方ガアルヤウデアゴザイマス、諸君ニ於ケレマシテ總テ十箇年ヲ
二十箇年ニシタイト云フ御考デアレバ政府モ之ニ同意イタス積リデアゴザイマス、左様御承
知ヲ……

○男爵川口武定君 藤田君ノ說ニ賛成

○副委員長(子爵堀田正義君) 如何デス、ソレハ尙後デ二讀會ノ時ニ……ソレダケ
聞イテ置ケバ……

(書記朗讀)

第五十一條 前條第一項ニ依リ競買ニ加入スル者ハ競買ノ申込ト共ニ保證トシテ
最低競買價額百分ノ五ニ相當スル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ供託スヘシ
但シ抵當權者ニシテ競買ニ加入スルモノハ此ノ限ニ在ラス

○藤田四郎君 此新五十一條デスガ、此但書ハ修正案トシテ提出イタシテゴザン
スルガ、少シ先達デ申上ゲタノハ不備ノヤウニモ考ヘマスルノデ、其理由ハ即チ此前條ニ依リマ
シテ抵當權者ガ入札ニ加ハリマス前二七人以上合同シテ行クト云フ規定ガゴザイマス、然
ルニ此抵當權者ニシテ二名グラ井ノ人デ一ノ鐵道財團ニ對シテ金ヲ貸付ケテ居ルト云フ
場合ニ於キマシテ入札ニ加ハル方法ガゴザイマセヌデ、必ズ此前條ニ依リマシテ七八ナリノ
人ガ共同イタシマシテ一會社ヲ組織スルコトヲ發起シマシテ、サウシテ其認可ノ手續ヲシマ

シテ入札ヲスルヤウニナルヲ思ヒマス、然ルニ此抵當權者ニ於キマシテハ數百萬圓ノ金ヲ投資シテ居ル者デゴザイマスカラ尙其ノ上ニ此入札ニ對シマシテモ入札金ヲ出スト云フコトハ甚ダ氣ノ毒ノヤウニ思ヒマス、殊ニ此本案ノ主意ニ依リマスト若シ入札シタ者ガ違約イタシマシタトキニハ十分ノ損害ヲ辨償スル規定ガ委シク出來テ居ルコトデゴザンスルカラ、假ニ抵當權者ガ三人デアリマストキニ他ノ四人ノ者ヲ引張ッテ來テ、前條ノ規定ニ依ッテ七人デ發起イタシテ會社ヲ組織スルコト云フ場合ニナリマスレバ、其七人ノ中三人ガ全部債權者ニ加ハッテ組織シタ場合ニハ矢張り此保證金ヲ出サズニ行ケルヤウニ致シテ貰ヒタイト云フ考デゴザイマス、チヨット案デ申シマスル「但シ競買人ニシテ同一順位ノ抵當權者ノ全部カ之ニ加ハリタルモノハ此ノ限ニ在ラス」ト致シテ貰ヒタイ、即チ本員ガ曩ニ提出イタシマシタノモ此目的デゴザイマスシタノデゴザンスガ、此法文ニ於テ不備ノヤウニ感シマシタノデゴザイマスカラ、改メテ此修正ヲ提出イタシマス、ドウカ御同意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○副委員長(子爵堀田正養君) モウ少シ……但シ……

○藤田四郎君 「但シ競買人ニシテ同一順位ノ抵當權者ノ全部カ之ニ加ハリタルモノハ此ノ限ニ在ラス」即チ全部之ニ加ハタモノナラバ、保證金ヲ出スニ及バヌ、ト斯ウ云フ意味デス

○都筑馨六君 其低當權者ガ全部加ハッテ居レバ抵當權者ニアラザル他ノ人マデ矢張り保證金ヲ出サヌデ宜イ、斯ウ云フ主意ニナルノデスカ

○藤田四郎君 即チ是ハ茲ニ三人ノ入札人ガアリマシテ……競買者ガアリマシテ其中ノ一人ガドウ云フモノカト云フト、今ノ七人カラ組成セラレテ居ルノデ、其七人ハドウ云フモノカト云ヘバ其中ノ二人ハ百萬圓ナリノ金ヲ貸シテ居ル人デアアル、併シ其三人ダケデ入札ガ出來ヌカラ、他ノ四人ヲ連レテ來テ、サウシテ入札ノ出來ルヤウニ發起會社ヲシテ來ル場合ノコトヲ申シタノデアリマスカラ、アトニドウ云フ人ガ這入ッテ居ラウガ、兎角其一會社トシテハ、即チ金ヲ貸シタ全部ノ人ガ這入ッテ居ルカラト云フ意味デゴザイマス、若シ之ニ反シテ其中ノ一人トカ二人デアリマスレバ、或ハ金ノ無い人モアリマセウカラ、本案ニ於テ十分ノ規定ガ有リマシテモ、或ハ其損害ヲ拂フコトガ出來ナイ場合モ有ルカト思ヒマシテ、全部ト致シマシタ

○都筑馨六君 サウスレバ意味ハ但シ抵當權者ノ全部ガ加入スルトキハ此ノ限ニ在ラスト云フ意味ニナルノデスカ

○藤田四郎君 サウ云フ意味ニナルノデス

○政府委員(一木喜徳郎君) 藤田サンニ伺ヒマスガ、今ノ御趣意ハ都筑君ノ御尋トハ違ッテ居リハ致シマセヌカ、都筑君ノ御尋ノヤウニ抵當權者ノ全部カ之ニ加ハルトキハ、例ヘバ抵當權者ガ三人アル、其中ノ一人ハ甲ノ七人ノ團體ニ加ハリ、一人ハ乙ノ七人ノ團體ニ加ハタ、其何レモガ保證金ヲ要セヌト云フコトニナル、尙モウ一ツハ抵當權者ガ或ル一ツノ團體ニ加ハッテ居ルト、他ノ團體マデモ保證金ハ要ラヌト云フヤウニ見エル嫌ヒガアル、デ矢張り藤田君ノ御案ノ方ガ精密デアラウト思フノデス

○藤田四郎君 詰リ唯今政府委員ノ言ハレマシタ意味ニ依リマシテ、此全部ト云フ字ヲ此所ヘ加ヘマシタデゴザイマス、是ハ全部ノ人ガアッチャコッチヤニ加ッテハ、無論

此但書ノ中ニハ這入ラヌノデアリマス

○子爵三島彌太郎君 サウスルト今ノ抵當權者ガ若シ鐵道會社ナドデアッタ場合ニハ、ソレデ矢張り今ノ但書ノ中ニ這入ッテ仕舞ヒマスカ

○藤田四郎君 左様デゴザイマス、鐵道會社デゴザイマスレバ、全部デアリマスカラ論ハゴザイマセヌ

○政府委員(一木喜徳郎君) 其場合ニハ保證金ヲ要サナイコトニナッテ居リマス、鐵道會社ガ契約ニ加ハリマスカラ……

○高木豐三君 質問ヲシタイノデアリマスガ、若シ此抵當權者ト云フモノガ二人デアアル場合、其中ノ二人ガ五人ノ他ノ者ト加ハッテ七人ヲ成シテ居ルトキニハドウナルカ、其二人ダケガ免セラレレルモノデアリマスカ、七人全部ガ免セラレレルノデスカ

○藤田四郎君 今ノ御尋ノヤウナ場合ニ於キマシテハ保證金ヲ全部出ダサスノデアリマス

○都筑馨六君 同一順位ト云フコトハ要リマスカネ

○政府委員(一木喜徳郎君) 同一順位ト云フ言葉ガ無いト、第一抵當ト第二抵當トアッタ時分ニ第一抵當權者モ第二抵當權者モ共ニ競買人ノ中ニ混ッテ居ラヌト保證金ヲ要スルト云フコトニナル真レガアルヲラウト思ヒマス

○藤田四郎君 詰リ一ツノ抵當權ニ付テ一ツダケノ入札ノ保證ダケヲ免セラレレル

○都筑馨六君 併ナガラ其第一抵當權者サヘ這入ッテ居レバ宜イ譯チヤアリマセヌカ、第二ハ要ラナクナリハシマセヌカ、第二ノ順位ノ抵當權者ガ全部這入ッテ居ラナケレバナラヌ場合ハアリマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ要ラナイ積リデアリマスガ、第一順位ト云フコトガ無いト抵當權者ノ全部ガ……

○都筑馨六君 第一順位デスカ、同一順位ト云フコトデアアルカラ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 同一順位デス、第二抵當權者デアレバ第二抵當權者ガ一團ヲ成シテ宜カラウト思ヒマス

○都筑馨六君 一團ヲ成ス場合ガアリマスカ、第一抵當テ競買ニナルノデセウ

○政府委員(一木喜徳郎君) 第二順位ノ者ガ有ルデセウ

○都筑馨六君 其場合ニハ第一抵當ノ者ハイケンイノデスカ

○藤田四郎君 ドッチヤモ別々デス、第一抵當權者ハ第一抵當權者デ組ンデ第二抵當權者ハ第二抵當權者デ組ンデ入札スル

○都筑馨六君 第二「アヤ」ハ落札シタトキニ第二抵當權者ダケガ僅カノ金高ホカ貸シテ居ラヌカモ知レナイ、其場合ニ保證金ナシデ行クト第一抵當順位ノ者ガ甚ダ困ルコトヲ來シハシマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 此考ハ何レ其第二抵當權者ノ入レマスル際ニハ第一抵當權者ノ同意ヲ得テ居ル、即チ第二抵當權者モ抵當權者トシテ第一抵當權者ガ認メテ居ルカラ是同ジニ扱ッテ宜カラウ、第一抵當權者ダケデモ宜シ、第二抵當權者ガ競買ニ加ハッテモ、其場合ニハ保證金ヲ免テ差支ナイ、詰リ保證金ヲ入レサセマスル重モナル趣意ハ濫ニ競買ニ加ッテ無駄ナ競買手續ヲサセルヤウナコトガ無いヤウニシタイ、第

二抵當權者ノ如キモノナラバ其心配ハ無カラウト思ヒマス

○高木豐三君 第一抵當權者ト第二抵當權者ト區別シテ、同一順位デナクテハナラヌト云フ所以ガ分ラヌト思ヒマス、例ヘバ第一抵當權者三人ト第二抵當權者四人トガ入札スルコトハ出來ナイノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 第一抵當權者ノ全部ト第二抵當權者ノ一部分ガ……

○高木豐三君 ソレハ第一抵當權者ト第二抵當權者ガ全部デアリマシタラ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 全部ナラバ差支ナイ、ドチカラノ全部ガ這入ッテ居リマスレバ宜イ、此藤田案ニ依リマシレバ一部ノ場合ニ許サナイト云フ御趣意ハ、一部ダト云フト、ドコマデガ一部ダカ境ガ能ク立タナイ、第一抵當權者ノ極ク一小部分ト第二抵當權者ノ一小部分トガ結付イタ場合ハドウナルカ、斯ウ云フ問題モ生ジテ來ル、ソレデ一部分ノ者ガ生ジテ來ル場合ハ認メナイト云フ御趣意デアラウ、其方ガ穩當デアラウト思ヒマス

○藤田四郎君 尙今高木君カラ御話ノ政府委員カラノ御答ガアリマシタガ、私ノ趣意ト全ク同ジデアリマスカラ、尙補ッテ置キマスルガ今ノ三人ガ全部デアッテ他ノ四人ノ者モ全部デアッテ、七人デ組織シテ來レバ、無論ドチヤノ側カラモ全部デアリマスカラ、ソレニ依レルノデアリマス

○都筑馨六君 サウシマスレバ斯ウ云フ結果ニナリハシマセヌカ、アトノ第三抵當、第四抵當ヲ設ケテ此保證金ヲ免レルト云フコトノ弊モ防グコトハ出來ナクナルデスカ、別ニ罰ガ有ルモノナレバ何ニモ制裁ハ無イ、保證金ガ五萬圓ナラバ一萬圓デ抵當權ヲ設置シテ、其七人デ……詰リ全部ノ七人ガ一萬圓ノ抵當權ヲ設置シテ、七人デ競賣ニ加入スルト云フコトニナルト、安イ第四第五ノ抵當ヲ置イテ保證金ヲ免レルト云フ結果ニナリハシマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハサウ云フ弊ガアリハセヌカト云フコトヲ實ハ恐レマシテ、前ノ條ニ第二順位以下ノ抵當權ヲ設定シマシテモ異議ガアレバ第一抵當權者ガ申出デラレルト云フ規定ヲ設ケテ居ル、ソレデ今御話ノ如キハ初メカラ惡意ヲ以テ實際必要モ無イノニ抵當權ヲ設ケルト云フヤウナ弊ヲ防グコトハ出來ルト思ヒマス

○都筑馨六君 何所ニアリマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ元ノ二十二條デアリマス

○都筑馨六君 第二第三ノ抵當權設定ヲスルノニ、ドンナ異議ガ申出デラレマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 丁度今御話ノヤウナ實際金ヲ借リル必要モ無イノニ競賣ノトキニ、ソレヲ利用シテ第一抵當權者ノ權利ヲ害サウト云フコトノ想像ノ出來ルヤウナトキハ異議ガ述べラレル

○都筑馨六君 凡ソ前カラ分ッテ居ッたら惡意ヲ證據立テルコトモ出來マセウガ、前カラ安イ抵當權ヲ設定シタ場合ナドニハ中々惡意ノ證據ト云フコトハ立チマスマイ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ其時ノ事情ニ依ルノデスネ、推定ヲスルヨリ仕様ガ無イ

○都筑馨六君 事情ニ依ルガ事情ノ證明ガ付キ兼ネハシマスマイカ、何ニシロ此但書

ハ段々考ヘテ見ルト實際ニ適合シテ居ルヤウニチヨットハ見エマスカ、餘リ感服ハシマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 都筑君ノ御意見ハ第一順位ト云フコトニ限ッタナラバ藤田案ト違ヒハ無クナリハシマセヌカ

○都筑馨六君 サウデス、第一順位ナラバマア論ハアリマスマイト思ヒマス

○藤田四郎君 多少ソレニ就テモ考ヘテ居リマシタガ、初メニ第一順位ノトキニハ僅カノ金ヲ借リテ第二順位ノトキニ餘計金ヲ借リルカト云フコトヲ實ハ心配シテ斯ウ云フ案ニシタノデスカ、何時モ第一順位ノ人ガ一番ノ權利者デアルカラ其方ニ限ラウト云フ御趣意デアリマシテ、皆サンモサウ云フ御考デアレバ其事ヲ載セマシテモ宜シウゴザイマス、第一順位ニ付テノミ斯ウ云フ特權ヲ與ヘルコトニスルハ強ヒテ異存ハアリマセヌ

○村田保君 私ハ是ハ第一第二ニ限ッタコトハナイト思ヒマス、ソレハ第一ハ第一バカリ、第二ハ第二バカリデ別ニスルナドト云フコトハ、詰リ前ノ條デ競賣ニ加入スルノハ一緒ニ這入ルコトヲ許シテ居ル、ソレデ矢張り是ハドチラモ一緒ニ見テ宜クハナイカト思ヒマスガ、第一モ第二モ構ヒハシナイ、屹度第一ノ者ガ金ガアルトモ云ヘマイト思ヒマス、第二ノ者ハ金ガ無イトバカリモ云ヘナイ、ソレデ同ジク私ハ抵當權者ナラバ矢張り其ソレダケノ保證金ナドハ出サヌデ宜イト思ヒマス、ソレヲ是非、第一ハ第一バカリ、第二ハ第二バカリニシナクテハナラヌト云フコトハアリマスマイ

○藤田四郎君 唯今村田君ナリ先刻高木君ノ御話ノ即チ第一第二ガ合シテ來ルト云フコトハ無論差支ナイ、ケレドモ若シ第一抵當權者ノ半分ト第二抵當權者ノ半分ガ一緒ニ來タトキハイカヌ

○村田保君 ソレデモ宜ササウナモノデヤナイカ

○藤田四郎君 第一抵當權者ノ中ニ貧乏人ガアルカモ分ラヌ、第二抵當權者ノ中ニモ貧乏人ガアルカモ分ラヌ、サウスルト此人等デ儲カッタバ宜シ、若シ怪シカラ逃ゲルト云フトキハ損害賠償規定ヲ執行スルト云ウテモムツカシカラウト心配シタノデアリマス

○村田保君 サウ云フコトハ決シテ無イ、七人以上デ會社ヲ組ムノデカラ……

○都筑馨六君 是ハ斯ウ云フ工合ニナッタラ、ドウカ抵當權者デモ何デモ保證金ハ出スコトニシテ其債權ヲ保證金ニ代ヘテ出スト云フコトニシテ途ヲ付ケテ御ヤリニナッタラ抵當權者ハ大シタ不便モ感ゼズニ濟ミハシマセヌカ、サウスレバ藤田君ノ趣旨モ通リハシマセヌカ、規定モ餘ホド錯雜シテ來ルト思フ、第一順位ニ限ルモ是ヨリハ宜イカ知リマセヌガ、餘リ法律ノ規定ノ上カラ見ルト、ミットモ宜イ規定トモ見エナイ、保證金ニデス、現金又ハ有價證券ト云フモノニ自分ノ持ッテ居ル債權ヲ充用スルコトガ出來ルト云フ緩ミヲ付ケテ御ヤリニナッタラ宜カラウト思ヒマス

○高木豐三君 抵當權ヲ保證金ニ代用シテ出スト云フコトハムツカシカラウト思フ

○都筑馨六君 債權デス

○高木豐三君 債權ト云フコトデアルナラバ貧乏ノトキハ後ニ取ルト云フナラバ抵當權ノ上ニ無論權利ノ執行ガ出來ルデスナ

○藤田四郎君 チヨット速記ヲ御止メ下スッデ暫時御相談ヲ願フ譯ニハ行キマスマイカ

○副委員長(子爵堀田正義君) ソレデハチヨット速記ハ待ッテ下サイ

(速記中止)

○副委員長(子爵堀田正養君) ソレデハ速記ヲ始メマス

○藤田四郎君 唯今五十一條ニ付キマシテ最初ニ出シマシタ但書ハ、ドウモ不備ノヤウニ思ヒマシテ、別ノ案ヲ提出イタシマシタノデアリマスケレドモ、ドウモ纏マリマセヌヤウデゴザイマスカラ、兎ニ角一旦最初ニ出シマシタ但書モ今日出シマシタ但書モ共ニ撤回イタシテ二讀會ノトキニ持出シマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○副委員長(子爵堀田正養君) 次ニ移リマス

(書記朗讀)

第五十二條 競買ハ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フ

第五十三條 裁判所ハ競買人ノ面前ニ於テ入札ヲ開封スヘシ

競落ト爲ルヘキ同價額ノ入札ニ箇以上アルトキハ裁判所ハ同價額ノ競買人ヲシテ直ニ再度ノ入札ヲ爲サシムヘシ

再度ノ入札ヲ爲スモ仍同價額ノ入札アルトキハ裁判所ハ直ニ抽籤ヲ以テ最高價競買人ヲ定ムヘシ

第五十四條 競買ニ加入スルコトヲ得サル者ノ爲シタル入札ハ無効トス

第五十五條 競買期日ニ於テ入札ナキトキ、許スヘキ入札ナキトキ又ハ最低競買價額ニ達スル入札ナキトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ更ニ競買期日ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ鑑定人ノ意見ヲ聽キ最低競買價額ヲ低減スルコトヲ得

○都筑馨六君 此五十四條ヲ玆ニ存シテ置ク必要ガ有ルノデスカ、分リキタ話ノヤウデスカ、何ゾ疑デモ起ルノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 後ノ「許スヘキ入札ナキトキ」ト云フヤウナコトニ關係シテ居ル

○高木豐三君 此「競買ニ加入スルコトヲ得サル者」ト云フノハドツカニ極デ居リマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ第五十三條ト五十四條デゴザイマス

○高木豐三君 是ハドウ云フ人ミガ這入レヌト云フノカ分ラヌ

○政府委員(一木喜徳郎君) 例ヘバ七人以上合同セズシテ來タモノ……

○高木豐三君 ソレハ七人ト云フ人数ダケデドウ云フ人間ガ這入レヌト云フコトハ分ラヌ

○政府委員(一木喜徳郎君) 七人以上合同シテ一組デナケレバ加ハレヌ、其場合ニ一組ヲ爲スニ足リナイ數デ一組ヲ爲シタ場合ニハ其者ノ入札ハ無効デアル、入札ハ一ツデスカラ、七人ダケレドモ七ツノ入札ガ有ル譯デ無イ

○高木豐三君 ソレハ無論サウデゴザイマスガ、加入スルコトヲ得ザルト云ヘバ、何カ是ダケノ資力が無ケレバイカヌトカ、是ダケノ資格が無ケレバ七人ノ中ニ加ハルコトガ出來ナイト云フコトガ云フテアレバ此通りデナケレバナラヌガ、是ハ五十四條ニ加入スルコトヲ得サル者」ト云フコトガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 七人ノ中ニ加ハルコトガ出來ナイト云フテ居ルノデハナイ、競買ニ加ハル者ガ七人ナラバ七人ヲ一體ト見ルカラ一組ガ七人以下デアルトカ、或

ハツンナ場合ハ有リマスマイガ、鐵道營業ヲ目的トスルノデナイ、他ヘ賣飛バシテ仕舞フ、斯ウ云フ場合、ソレカラ五十四條ニ依リマシテ供託シテ居ラヌト云フ場合……

○高木豐三君 ソレデハ法律ノ規定ニ適合シナイ入札者ノ入札ハ無効トスルト斯ウ云フノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス

○都筑馨六君 サウ云フ意味ダカラ裏ニ隠レテ意味ガ有リサウニ見エル

○副委員長(子爵堀田正養君) 異議ガ無ケレバ先ニ進ミマス

(書記朗讀)

第五十六條 入札ハ之ヲ變更シ又ハ取消スコトヲ得ス

入札ハ其ノ入札ヲ爲シタル競買人以外ノ者ニ競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキ、競落ヲ許ササル決定カ確定シタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競買手續ヲ終了シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第五十七條 裁判所ハ最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額ヲ表示シ競買ノ終局ヲ告知スヘシ

第五十八條 裁判所ハ競買ニ關スル調書ヲ作成シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 競買ニ付セラレタル鐵道財團ノ表示

二 競買申立人ノ表示

三 入札及開札ノ日時

四 總テノ競買價額及競買人ノ名稱、住所又ハ入札ナキコト、許スヘキ入札ナキコト若クハ最低競買價額ニ達スル入札ナキコト並第五十六條第二項又ハ第三項ノ手續ヲ爲シタルコト

五 競買ノ終局ヲ告示シタル日時並最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額

○藤田四郎君 五十六條ノ二項ハ此間御尋イタシマシテ意味ハ能ク分リマシタガ、斯ウ云フ書キ工合ハドツカニ例ガ有リマシタカ、チヨット忘レマシタカラ……

○政府委員(塚田達二郎君) 別ニ例ハゴザイマセヌケレドモ、餘ホド書キニクイ規定デアリマシテ、規定シタ結果、御分リ惡イカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ風ニ書イテ置イタナラバ總テノ場合ヲ包含スルデアラウト云フ考デ規定ヲ致シタ、次第デアリマス

○都筑馨六君 ケレドモ此書キ方デハ「入札ハ……競買手續ヲ終了シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ」却テ其時カラ效力ヲ生ジサウニ思フガ、失フコトニ讀メマスガ、サウデスカ

○政府委員(塚田達二郎君) ソレハ「競落ヲ爲サスシテ競買手續ヲ終了シタルトキ」トアリマシテ、形容詞ガ附イテ居リマスカラ、ソレデ御分リナラウト思ヒマス

○藤田四郎君 此二項ハドウデゴザイマセウカ、無クデモ是ハ支ヘナイデラウト思ヒマスガ、分リ惡クアリマスカラ、意味ハ分リマシタガ、是ハ無クデモ支ヘナイナラバ除イテハ如何デゴザイマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ガ無イト支ヘマスノハ保證金ヲ何時受取ルコトガ出來ルカ何時戻サレルカト云フ時期ニモ關係イタシマス、ソレデ今ノ御尋ハ畢竟此書キ方ガ分リ惡イト云フコトカラ出タカト思ヒマスカラ斯ウヤッタ如何デゴザイマス、「入札ハ其入札者以外ノ者」ト云フ様ナコトニシタラ如何デゴザイマス

○藤田四郎君 唯今ノ様ニナリマシテモ矢張り分ラナイノデゴザイマシテ、意味ハ分リマシタガ畢竟詰リ保證金ヲ返スト云フノハ、モウ入札ハ三日ナリ四日ナリ其日ニ開クコトニ極ツタモノデアリマシテ、開イタトキハ落チナイ人ニ金ヲ返スノハ當然デアリマス、此タメニ法文ノ意味ガムツカシクナル様デゴザイマシテ一々説明ガ要ラウト思ヒマス、ソレダケノコトナラバ除イタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○都筑馨六君 併ナガラソレヲ御拾置キニナルト此一項ガ既ニ要ラナイノデハナイカ、一體入札ト云フモノハ何時カラ入札ニナルカ、入札ノ開クトキ始メテ入札ニナルノカ、或ハ其入札ヲスル人ノ手ヲ離レトキガ入札カ、兎ニ角向フノ人ニ渡スマデハ變更シタリ取消シタリスルコトハ隨意デラウト思ヒマス、是モ入札トナッタ以上ハ變更ガ出来ナイトカ取消スコトガ出来ナイト云フノハ、入札ト變更シタ瞬間カラ出来ナイト云フ意味デアラウ、言ハヌデモ分ツタコトデ、却テ言フト何時ノ瞬間カラ入札ト認ムベキカト云フ問題ガ決シテ居ラナイ、入札ト變更シタ瞬間カラ無論變更モ出来ナイシ取消モ出来ナイ、ソレマデハ隨意ニ出来ルト思ヒマス

○政府委員(塚田達二郎君) 入札ハ自分ノ手ヲ離シテ箱ヘ入レタナラバ取消スコトガ出来ヌト云フコトハ他ノ法理カラ當然ニ解決ノ出来ル問題デ無カラウト思ヒマス、未ダ入札ハシタケレドモ開札ニナラヌ前ハ取消シテモ宜カラウ又變更シテモ宜カラウト云フ様ナ疑ガ現ニ澤山アリマス、アリマスカラ會計法ナドデハ矢張り其規定ガ無イマデハ、入札ヲシタニモ拘ラズ開札前ニ引返スト云フコトガ屬テ起テ弊ヲ生ジマシタカラ、特ニ此頃ハ明文ヲ置イテ一旦入札ヲシタ以上ハ、開札ニナラヌデモ意思ヲ表示シテ其入札ヲ自分ノ手カラ離シテ仕舞ヒマスレバモウ取消スコトハ出来ヌ、又變更ト云フコトモ出来ヌト云フ明文ヲ置イテ、現在アル所ノ弊ヲ取締テ居ルコトデゴザイマス

○都筑馨六君 至極御尤デアリマスガ、入札ハ自分ノ手ヲ離レトキ入札トナルト云フコトハ何カラ出テ来ルノデアリマスガ、入札箱ヘ入レタトキガ入札ガ、實ハ理窟カラ推シテ行ツタラ開札ト云フトキ始メテ入札ニ一變更ノ瞬間デハアルマイカト思ヒマス、開札ノトキニコツチノ意思ガ通ズルカラ箱ヘ入レタトキ入札ニ變更スル瞬間デアルト云フコトハ何カラ出テ来ルマスガ、矢張り同ジ疑ガ殘リハシマセヌカ

○政府委員(塚田達二郎君) 開札スルトキ入札ニナツタノデナクシテ御承知ノ通り書面ナラ書面ニ自分ノ意思ヲ表示シテ、其表示シタ意思ヲ自分ノ處分權ノ中カラ離シテ仕舞ツタラ入札トシテ立派ニ成立ツモノデアラウト思ヒマス、詰リ自分ガ先方ヘ手渡シセヌ間ハ自分ノ方デ自由ニ變更モ出来マス取消モ出来マスガ、自分ノ意思ヲ表示シテ意思表示ガ先方ニ届イテ先方ノ人ガ開封シテ見ナイデモ、先方ガ入札ヲ受テ居リサヘシマスレバ、モウ入札ハ完全ニ出来上ツタモノト云フコトハ別ニ法律ノ規定ヲ要セズシテ其點ハ明カデアラウト思ヒマス

○都筑馨六君 其理窟ガ私共ハ明ニ分ラナイ、自分ノ手ヲ離レトキ、先方ニ届カイデモ、郵便役所ニ預ケタトキハ自分ノ手ヲ離レテ居ルカラ何故ニ郵便役所ニ預ケタ時カライカナイトシナイカ、若シ先方ニ届カナイトニ電報デモ取消シタラ入札前ナラ宜シイト云フコトニナルカ、ソコニナルト入札ガ入札官吏ノ手ニ落チタ時カラトカ理窟ガ附ケ惡イカト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 事實ハ隔地者ノ間ノ法律行為デ無イカラ、詰リ入札ハ其當日競賣スル所デアルト云フノデアリマスカラ起ルマイト思ヒマス

○都筑馨六君 使ニ持タセデモヤリマセウ

○政府委員(一木喜徳郎君) 使ニ持タセデモ、ソレハマダ入札デハナイ、入札ハ其當日カラデ、例ヘバ投票ヲ他人ニ委託シテ持タセデアルコトモアルガ、其投票ハ投票箱ヘ入レタトキト同ジコトデアラウト思ヒマス

○高木豐三君 今ノ都筑君ト政府委員ノ御議論ハ民法ノ意思表示ノ議論デ、ソレナラバ此條ハ要ラナイノデ、私ノ考デハ民法ノ原則デ行カナイカラ斯ウ云フ特別ノ例ヲ設ケタト、斯ウ云フ主意デハナイノデスカ、ドウデスカ

○政府委員(塚田達二郎君) 民法ノ意思表示ノ原則デ行キマスと云フト、取消サヌト言ツテ意思ヲ明ニシテ申込シマシタモノデアラナラバ、取消スコトハ出来マセヌガ、其意思ヲ表示シマセヌデ申込申込ト云フモノハ、マダ相手方ガソレニ對シテ承諾ノ意思ヲ表示シマセヌ限リハ取消スコトガ出来ルト云フコトニナツテ居リマス

○高木豐三君 サウ云フコトハイカスカラ斯ウ極メタノデ、其主意デセウネ

○政府委員(塚田達二郎君) 御質問デハサウ云フコトハ當然取消スコトハ出来ナイ、法律ノ規定ガ無クテモ取消スコトハ出来ヌト云フ御話デアリマスガ、民法ノ一般ノ原則デ見マス、開札ヲセヌ前ハ取消スコトガ出来ルト云フ反對ノ解釋ガ付ク虞ガアリマスカラ、法律ヲ特ニ此處ニ取消スコトヲ得ズト云フコトヲ書カナケレバナラヌ

○都筑馨六君 サリナガラ入札ト變更スル瞬間マデハ取消スコトガ出来ル、併ナガラ先刻カラノ御答辯デ見ルト、入札ト變更スル瞬間ニ於テハ政府委員ノ間ニモ既ニ自ラ解釋ガ違ツテ居ルヤウニ私ニハ見エル、片方デ見ルトコナラノ處分權ヲ離レトキ、即チ向フノ官吏ノ手ニ行ツタトキニ既ニ入札ニナツテ仕舞ツタ、モ一方ノ御説デ見マスレバ投票箱ノ如キ入札箱ヘ入ツタトキガ初メテ入札ニ變更スル瞬間デアルト云フコトニナリハシマセヌカ、前段ノ説ヲ採ツテ行クト使ニ持タセテ遣ツタヤウナ場合ニハモウ取消スコトハ出来ナイ、使デアツタナラバ使ニ出シタ時カライケナイト云フコトニナル、斯ウ云フコトニナリハシマセヌカ、トツチニシテモ之ヲ書イテ御置キニナツタコトハ如何ナル時カラ入札ト云フ同ジ疑ガ起リハシマセヌカ

○政府委員(塚田達二郎君) 唯今ノ御説モアリマシタケレドモ、他ノ政府委員カラ御答シマシタコトモ意味ハ違ハヌ積リテ居リマス、政府委員ノ考ハ別ニ見解ヲ異ニシテ居ル積リハゴザイマセヌ、處分權ヲ失ツタトキト申シマスノハ、之ヲ例示的ニ申シマスレバ箱ノ中ニ入レマシタトキモ、既ニ處分權ヲ失ツタコトニナリマスシ官吏ニ手渡シマシタ場合ニモ處分權ヲ失ツタコトニナリマス、處分權ヲ失ツタト申シマスコトハ包括的ノ表示デアリマシテ、場合ヲ細カニ分ケマスレバ種々アラウト思ヒマスガ、要スルニ箱ノ中ヘ投入シマシタ如キモ最モ其適例ト考ヘマス

○高木豐三君 要スルニ是ハ民法上デ謂フ發信主義ヲ採ルトカ受信主義ヲ採ルトカ、向フカラ認諾ノ無イ以上ハ、ソレマデハコナラハ取消セルトカ云フヤウナ民法ノ原則デハ行カナイトデアリマス、此入札ハ例ヘバソレハ發信主義ニシテモ受信主義ニシテモ裁判所ヘ入札ヲ出スト、ソレハ許スベキモノカ許スベカラザルモノカト云フノデ極マルノデ、又開札ガ

承諾ノ何ニナルカト云フトサウデモナイ、開札ヲシテ見タ上デモ矢張り競落ヲ許ス決定ト云フモノガアルマデハ極マラス、是ハ一種特別ノ場合デアラルカ、ソレデ民法ノ所謂意思表示ノ原則其儘デハイケヌト云フノデ斯ウ云フモノヲ掲ゲタルスレバ何處ガ時期カト云フヤウナコトノ問題ヲ起ス必要ガ無クテ、此處分ダケテ解決シテ行カウト云フ、斯ウ云フ主意出來タモノト私ハ思フノデゴザイマス

○都筑馨六君 丁度ソコデ、如何ナル瞬間カラ入札ト云フモノニナルノカ、紙ヘ書イタイタズラ書キガ入札ト變ズルノハ何時ノ時カラト云フノデスカ、民法ノ方ノ問題トハ少シ違フテ居リハシマセヌカ

○高木豐三君 入札ハ箱ヘ入レル時カラデ、何日マデニ差出セト云フ其差出シタ時ガ入札デ、其入札ガ皆效力ガ有ルカドウカト云フトツレハ分ラヌ

○都筑馨六君 郵便ニ託シタ時ハ其託シタ瞬間カラ入札ニナル、或ハ向フヘ居カヌ中ニ電報テ取消ストカ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 此入札ハ競買人ノ本人ガ出頭シマスカ、若クハ其委任狀ヲ持テ居リマス代理人ガ出頭シテ入札ヲスル時デナケレバ入札ハナカラウト思ヒマス、郵便ニ託スルト云フコトハ出來ナイノデハアルマイカト思ヒマス、斯ウ云フ考デゴザイマス

○副委員長(子爵堀田正養君) 六十條モ六十一條モ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(吉村源太郎君) 此修正案ノ五十八條ノ第四號ノ中ノ「五十六條」ト云フノハ是ハ修正ノ結果「五十三條」ニナリマス

○高木豐三君 此競賣ノ場所ト云フコトハ此申請ノ時……官報ノ公告ノ時ニ競賣期日場所トカ云フヤウナコトガアリマス、是ハ調書ニハ場所ノナドハ關係……ソレヨリ前ニ何處デハヤルト云フコトハ極メテ居リマスカ、或ハ極メテ居ラヌカ、ドツチニシテモ調書ニハ必要ハ無イ

○政府委員(齋藤十一郎君) 此競賣ノ場所ハ裁判所ト云フ考デゴザイマス、調書ニハ別ニ其調書ヲ作製シマス裁判所デ開イタノデゴザイマスカ、特ニ書ク必要ハゴザイマスマイト思ヒマス

○高木豐三君 サウスルト、此黒字ノ五十二條ノ競賣ノ場所ハ裁判所ト云フ意味ナノデスナ

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様デゴザイマス
○副委員長(子爵堀田正養君) 宜シケレバ先キニ進ミマス

(書記朗讀)

第五十九條 裁判所ハ競落期日ニ出頭シタル債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及競買人ニ競落ノ許可ニ付陳述ヲ爲サシムヘシ

第六十條 強制競賣申立ノ取下若ハ強制執行ノ取消アリタル場合又ハ第五十一條乃至第五十七條若ハ第六十條ノ規定ニ違反シテ競賣ヲ爲シタル場合ニ限リ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者又ハ競買人ハ競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第六十一條 裁判所ハ異議ノ申立ヲ正當トスル場合ニ於テ更ニ競賣ヲ許スヘキト

キハ職權ヲ以テ競賣期日ヲ定ムヘシ
前項ニ依リ競賣期日ヲ定ムル場合ノ外競落ノ許可ハ決定ヲ以テ之ヲ言渡スヘシ
第六十二條 競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲シタル者ハ第六十三條ニ掲ゲタル理由アル場合ニ限リ競落ヲ許ス決定ニ對シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

競落期日ニ出頭シ競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲ササル者ハ競落ヲ許ササル理由ナキ場合ニ限リ競落ヲ許ササル決定ニ對シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得
抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第六十三條 裁判所ハ競落ニ關スル調書ヲ作成スヘシ
第六十四條 競落ヲ許ス決定力確定シタルトキハ裁判所ハ其ノ決定ノ謄本ヲ主務官廳ニ送付スヘシ

第六十五條 競落代金ハ競落ヲ許ス決定力確定シタル日又ハ本免許ヲ受クルコトヲ要スル者ニ在リテハ本免許ヲ受ケタル日より一週間以内ニ之ヲ裁判所ニ支拂フヘシ但シ債權者ガ競落人タル場合ニ於テハ自己ガ競落代金中ヨリ受取ルヘキ金額ヲ控除シ其ノ殘額ノミヲ支拂フヲ以テ足ル

第六十六條 競落代金ノ支拂アリタルトキハ競賣ニ付セラレタル鐵道財團ニ關スル權利ハ競落人ニ、競落人カ第五十二條第一項ニ依リ競賣ニ加入シタル者ナルトキハ其ノ競落人ニ依リテ發起セラレタル會社ニ移轉ス

抵當權ハ前項ニ依リ鐵道財團ニ關スル權利カ移轉シタルトキニ消滅ス
第六十七條 本免許狀ノ下付ナキトキ、第七十六條ノ期間内ニ本免許ノ申請ナキトキ又ハ第六十八條ノ期間内ニ競落代金ノ支拂ナキトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ競落ヲ許ス決定ヲ取消シ更ニ競賣期日ヲ定ムヘシ

前項ニ依リ競落ヲ許ス決定力取消サレタルトキハ本免許ハ取消サレタルモノトス
競落人ハ新競賣ニ加入スルコトヲ得ス且新競賣ニ於ケル競落代金カ最初ノ競落代金ヨリ少ナキトキハ其ノ不足額及手續ノ費用ヲ賠償スヘシ

○政府委員(吉村源太郎君) 修正ノ條ヲ申上ゲマス、此修正案ノ第六十條ニ「第五十一條乃至第五十七條若ハ第六十條」トゴザイマスガ是ハ「第四十八條乃至第五十四條若ハ五十七條」トナル、ソレカラ修正案ノ六十二條デゴザイマスガ第一項「第六十三條」トゴザイマスノハ「六十條」、ソレカラ修正案ノ六十六條デゴザイマスガ第一項「競落人カ第五十三條第一項」トゴザイマス、是ハ「五十條」ニ、尙修正案ノ六十七條デスガ、其第一項「第七十六條」トゴザイマスノガ「七十三條」ソレカラ「六十八條」トゴザイマスノガ「六十五條」……

○都筑馨六君 此六十五條ニ本免許ヲ受クルコトヲ要スルモノト云フノハ政府ノミヲ指スコトデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス

○都筑馨六君 第六十六條「競落人ニ依リテ發起セラレタル會社」ト云フノハ是ハ設立ト書イタ方ガ宜イト云フ説ガアリマシタガ、其方ガ宜クハナイノデスカ、發起ダケテ設立サレヌ會社ガ世ノ中ニ往々アルノデス

○政府委員(一木喜徳郎君) 發起シタルト書イタノハ競落人ダケテ組織スルノデハナ

イ、競落人ハ唯發起スルダケノコトデス

○副委員長(子爵堀田正養君) 第六十八條

(書記朗讀)

第六十八條 裁判所ハ競落代金ノ中ヨリ順次ニ競賣ノ費用及租税其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額ハ抵當權ノ順位ニ從ヒ之ヲ抵當權者ニ配當シ仍殘餘アルトキハ之ヲ鐵道財團ノ所有者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務官廳ニ通知シ競賣申立ノ登録ノ抹消ヲ囑託スヘシ

主務官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 第四十九條第二項ニ依リテ爲シタル登録及抵當權ノ登録ヲ抹消スルコト

二 競落ヲ許ス法定アリタルコトヲ管轄登記所ニ通知シ競落人又ハ競落人ニ依リテ發起セラレタル會社力取得シタル不動産ニ關スル權利ノ登記並第八條

第二項、第十一條及第十八條第二項ニ依リ效力ヲ失ヒタル登記ノ抹消ヲ囑託スルコト

○政府委員(吉村源太郎君) 此修正案ノ第六十八條ノ第一號デゴザイマスガ「第四十九條」トアリマスガ「第四十六條」ニ直ホリマス

○副委員長(子爵堀田正養君) 次ニ移リマス、第六十九條

(書記朗讀)

第六十九條 競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務官廳ニ通知シ競賣申立ノ登録ノ抹消ヲ囑託スヘシ

主務官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ第四十九條第二項ニ依リテ爲シタル登録ヲ抹消スヘシ

第七十條 裁判所ハ二回以上競賣期日ヲ開始シタルモ入札ナキトキ、許スヘキ入札ナキトキ又ハ最低競賣價額ニ達スル入札ナキトキハ抵當權者ノ同意アル場合ニ限リ競賣ニ付シタル鐵道財團ヲ箇箇ノモノトシテ競賣ニ付スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ抵當權者ノ意見ヲ聽キ鐵道財團ニ屬スルモノヲ分割シテ競賣ニ付スルコトヲ得

第七十一條 前條ノ競賣ニ關シテハ第五十一條、第五十二條、第五十五條乃至第六十九條、第七十條第一項、第三項、第七十一條及第七十二條ノ規定ヲ準用ス

競賣人ハ競賣ノ申込ト共ニ保證トシテ最低競賣價額百分ノ五ニ相當スル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ供託スヘシ

○政府委員(吉村源太郎君) 此條文ノ修正シタ箇條ヲ申上ゲマス、修正案六十九條ノ第二項「四十九條」トアリマスガ「四十六條」、ソレカラ修正案ノ七十一條ノ一項「五十一條」トアルノガ「四十八條」、「五十二條」ガ「四十九條」、「五十五條」ガ「五十二條」、「六十九條」ガ「六十六條」、「七十條」ガ「六十七條」、「七十一條」ガ「六十八條」、「七十二條」ガ「六十九條」

○都筑馨六君 念ノタメ質問シテ置キタウゴザイマス、七十條ノ場合ニ於テ免許狀ヲ

會社ガ持ッテ居レバ、斯ウ云フ場合デモ營業ハ免許狀ヲ取消サレルマデハ繼續シテ行カレルモノト私ハ解釋シマスガ、宜シウゴザイマスガ

○政府委員(一木喜徳郎君) 競賣中デアリマスガ

○都筑馨六君 競賣中デモ競賣後デモ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 所有權ガ移轉シタ場合デモ……

○都筑馨六君 所有權ガ移轉シテモ其所有權ノ行使ノ結果デ、管理ヲ取ラレヌ以上ハ矢張り營業ハヤッテ行ケヤウト思フ

○政府委員(一木喜徳郎君) 鐵道ガ無クナッテ仕舞フデスナ……

○都筑馨六君 ケレドモ無クナルト云フコトハマダ分ラヌノデス、鐵道ハ今日デモ此間中カラ段々ト承ルト鐵道ノ個々ノモノニ付イテ物上權ノ附イテ居ルモノガアル、現在サウ云フノガ營業シテ居ル、サウ云フ鐵道ガ總テ個々ノモノニ分裂シテ仕舞フデモ其個々ノモノ、所有權ノ行使デ、鐵道ソノモノヲ差押ヘラレヌ限リハ營業ハ繼續ケテ行デ宜カラウト思フ、例ヘバ總武鐵道ノ如キデアリマスガ抵當ノ目的ニナッテ居ル、或ハ地面ハ差押ヘラレタノガアルカモ知レヌ、ソレト同ジコトデ所有權ガ人ニ移ッテモ營業ノ管理ノ許サレテ居ル間ハ營業ハ繼續シテ行デ宜カラウト思フデアリマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 原案ノ主意ハ競落シマシテ所有權ガ移轉スレバ營業ハ出來ナイ考デス

○都筑馨六君 ケレドモ此場合ニ於テハ競落ト云フコトハ無イノデス、財團トシテノ競落ハ無イノデス、ソレデ已ムヲ得ズ個々ノモノニ分裂シテ競賣ニ付スル其場合ト雖モ競落ノ結果スデ……えんヲ差押ヘラレテ仕舞フタナラバ自然營業ハ出來ヌデアリマセウガ、差押ヘラレヌ限リハ營業ハ繼續ケテ行カレヤウト思フ

○政府委員(一木喜徳郎君) 其場合ニ於テハ鐵道ノ上ニ對シテ何等ノ權利ハ無イト思フ、所有權ハ移ッテ仕舞フデ……或ハ地上權ナリ賃借權ナリ有ッタラ宜カラウガ、何等ノ權利ガ無イ……

○都筑馨六君 何等ノ權利ハ評議ノ上、付ケルカモ知レヌ

○村田保君 私共ハ矢張り繼續シテ營業ガ出來ルモノナラ宜ササウニ思フデスガ、事務管理デソレダケノ金ヲヤレバ宜イ、サモナイト一般公衆ノ爲ニハ困ルノデス

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ最後ノ場合デ……

○都筑馨六君 實際ノ所ハサウデアラウト思ヒマスガ、法理デ押シテ行ケバ遞信省營業ヲ止メルマデハ、ヤッテ行デ構フマイト思フ、所有權ノ行使デ之ヲ何所ヘモ通サヌト言ッテ所有權ヲ持ッテ居ル奴ガ垣根ヲ拵ヘタナラバヤレマスマイガ、ソレマデハ私權ノ行使ノ結果デ止メラレルカ、然ラザレバ遞信省デ止メラレルマデハ營業免許ヲ持ッテ居ルモノハ、ズン／＼ヤッテ行デ宜カラウト思フ

○政府委員(一木喜徳郎君) 詰リソレハ他人ノ權利ヲ侵害スルコトニナル

○村田保君 併シ鐵道ノ事業ヲ繼續シテヤッテ居ッタラドウデス、ソレヲ法律デ止メルコトハ出來ヌ

○政府委員(吉村源太郎君) 唯今ノ御尋ハ強制競賣ヲヤッタ、強制競賣ノ結果、遞信省ガ免許狀ヲ取消サナイ中ニ管理ヲ取消セルカドウカト云フコトデアリマスガ、遞信省

が免許狀ヲヤルト云フ場合ニハ會社が相當ノ鐵道ト云フ財産ヲ持ツテ營業シ得ラレル狀
態デアルト云フ承認ノ下ニ免許狀ヲ與ヘラレテ居ル、所ガ其者ノ權利ガ他人ニ移ツテ
仕舞ツタ、詰リ鐵道ト云フモノハ會社ニ屬シテ居ラヌ、當然免許ハ效力ヲ失フト考ヘテ居
リマス

○都筑馨六君 サウハ行キマス、現在小鐵道ハ鐵道全部ナラ無論宜イケレドモ、
個々ニシテ賣ルトキニハ一部分ホカ賣ラナイカモ知レヌ、一部分ハ賣レテ大部分ハ會社ニ
殘ツテ居ルヤウナ場合ガアリマス、現在、或ル小鐵道ハ借金ヲシテ其結果、差押ヲ食
居ルモノガ幾ラモアリマセウト思ヒマス、サウ云フ場合ニ一部分人ノ物ニナツタカ
免許ノ效力ハ當然消エルト云フコトハ出來マス、大部分ガ賣レタ場合ニハ無論デ
スガ、小部分ガ賣レタ場合ニハ免許ノ效力ハ消エヌト云フ解釋ガ出來ラヌト思フ、一
小部分ガ私權ノ目的ニナル爲ニ當然免許ノ效力ガ消エルト云フ解釋ハ取ラヌト思
ヒマス
○政府委員(吉村源太郎君) 修正ノ第七十條ノ個々トシテ競賣ニ付スルノハ時期ヲ
異ニシテ賣ルデ行クノデハナイ、鐵道財團ヲ離レテ個々ノ物トシテ同時ニ賣ルト云フ
意味
デゴザイマス

○都筑馨六君 必シモ同時デナケレバナラヌト云フ制限ハ無イデハアリマセヌカ、新ニ附
ケテ條件ヲ法律ノ上カラハ出テ來ナイト思ヒマス

○高木豐三君 詰リ都筑君ニ御相談ダガ、議論デハサウ云フ疑問モ出マスガ、鐵道全
部ノ入札者ガ無クテツレ個々ニシテ競賣スル場合ニハ詰リ計算ニ掛ラヌカラ入札者モ
無シ、詰リツレハ最後ノ場合デスナ、進モ營業ナドヲヤツテ居ル場合ニコンナ問題ハ起ラヌ
ト思ヒマス

○都筑馨六君 私モサウ思フ、實際ハ差支ナイダラウト云フ考デアルガ、議論ノ行掛リ
デ念ノ爲ニ一本突込デ置クノデアアル、ノミナラズ高木君ニ伺ヒマスガ、高木君ノ扱ハレタ
何處カノ鐵道デハ……勿論、名ヲ開クニハ及バヌデスガ、取扱ハレタ例ニ依
テ見ルト、大部分ヲ差押ヘラレテ、サウシテ個々トシテ競賣シタ場合ニ一部分
タケ人ノ物ニナツテ居
ルト云フ鐵道ガ有リハシマセヌカ

○高木豐三君 其時ニハ構ハズ營業ヲヤツテ居リマス、詰リツレハ差押中、假
差押中デ
アルカラ、ヤツテ居ルノデゴザイマス

○都筑馨六君 所有權ガ移ツタ後ニ營業ヲ續ケテ居ルモノハアリマセヌカ
○高木豐三君 ソンナモノハアリマセヌ

○副委員長(子爵堀田正養君) 宜シケレバ先キニ進ミマス
〔書記朗讀〕

第七十二條 競落人カ第五十三條第一項ニ依リ競賣ニ加入シタル者ナルトキハ發
起人ト爲リテ會社ヲ設立スヘシ

第七十三條 競落人ニ依リテ發起セラレタル會社又ハ競落人タル會社ハ競落ヲ許
ス決定カ確定シタル日ヨリ二箇月内ニ本免許ヲ申請スヘシ

第七十四條 競落人ニ依リテ發起セラレタル會社カ本免許ヲ申請スルニハ左ニ掲
グ
ル書類ヲ添附スヘシ

一 定款

二 發起人ニ於テ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ検査役カ裁判所ニ爲シタル報
告書ノ謄本及裁判所ガ検査役ノ報告ヲ聽キ爲シタル決定ノ謄本
三 株主ヲ募集シタルトキハ株式申込書ノ謄本、發起人、取締役、監査役又ハ
検査役ヨリ創立總會ニ爲シタル報告ノ要領及創立總會ノ議事及決議ノ要
領

第七十五條 競落人タル會社カ本免許ヲ申請スルニハ定款ノ變更ト同一方法ノ
決議ニ依ルヘシ

本免許ノ申請ハ定款變更ノ決議認可ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ
第七十六條 主務官廳ハ前三條ノ規定ニ依リ申請アリタルトキハ本免許狀ヲ下付
スヘシ

第七十七條 本免許ハ會社カ競落代金ヲ支拂ヒタルトキニ其ノ效力ヲ生ス
本免許カ效力ヲ生シタルトキハ會社ハ原免許ニ屬スル權利及義務ヲ承繼ス
第七十八條 強制管理ニ付テハ第四十六條、第四十八條乃至第五十條ノ規定
ヲ準用ス

第七十九條 強制管理開始ノ決定確定シタルトキハ裁判所ハ其ノ決定ノ謄本ヲ
主務官廳ニ送付スヘシ

第八十條 前條決定ノ謄本ノ送付アリタルトキハ主務官廳ハ一人又ハ數人ノ管
理人ヲ選任スヘシ但シ強制管理ノ申立人ハ適當ノ人ヲ推薦スルコトヲ得
商事會社ハ管理人タルコトヲ得

第八十一條 主務官廳ハ管理人ヲ監督シ、管理方法ニ付指揮ヲ爲シ且管理人ニ
與フヘキ報酬ノ額ヲ定ムヘシ

主務官廳ハ前項ニ掲ケタル事項ニ付債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及
鑑定人ノ意見ヲ聽クコトヲ得

主務官廳ハ管理人ニ擔保ヲ供スヘキコトヲ命シ又ハ之ヲ解任スルコトヲ得
藤田四郎君 第八十條ニ「商事會社ハ管理人タルコトヲ得」トアルノハ、鐵道ニハ
限ラヌデモ宜イノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 事實ハ鐵道會社ガ適當デアリマセウケレドモ、必シモ鐵
道會社ニ限ッテ置カヌデモ宜カラウト思ヒマス

○都筑馨六君 既ニ信託會社ナド入レル必要ガアラウト思フ
○高木豐三君 此第七十七條ノ第二項デスガ「本免許カ效力ヲ生シタルトキハ會社
ハ原免許ニ屬スル權利及義務ヲ承繼ス」トアルガ、是ハ全ク公法上ノ關係ト云フカ、免
許ニ屬スルアルカラ、是デ宜イカナ、是デ分ルカナ

○政府委員(一木喜徳郎君) 御尋ノ通りニナルノデゴザイマス

○村田保君 效力ヲ生シテカラデナケレバ營業ハ出來ナイガ、本免許ノコトデスネ、「會
社ハ原免許ニ屬スル權利及義務ヲ承繼ス」ト云フノデスカ、其前ニハ營業ハ出來ナイ
ノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 其前ニ會社ガ營業スルト云フノハドウ云フ……

○村田保君 前ニ會社ガ競落シテ居ル場合……

○政府委員(一木喜徳郎君) 競落シテモ所有權が移轉シナイ間ハ營業ハ出來マセヌ
○村田保君 競落人ガ前ノ會社ノ總テヲ繼續シテヤルコトハ……
○政府委員(一木喜徳郎君) 本免許ヲ受ケテカラ始メテ競落代金ヲ拂フコトニナリ、
代金ヲ拂フ、ソコデ所有權ガ移轉スル譯デス
○村田保君 ソレナラ本免許ヲ受ケルマデノ間ハドウナリマスカ
○政府委員(一木喜徳郎君) 本免許ハ先ヘ受ケテ、ソレカラ代金ヲ拂ヒ代金ヲ拂フ
始メテ權利ガ移轉スルコトニナルデス
○都筑馨六君 ソレハ平常ノ場合ニハサウデアリマセウケレドモ、法律ノ上ニ於テハ本免
許ヲ受ケル前ニ代金ヲ拂フテ惡イト云フコトハアリマセヌ
○政府委員(一木喜徳郎君) 「本免許ハ會社ガ競落代金ヲ支拂ヒタルトキニ其ノ效
力ヲ生ス」ト云フデアリマスカラ……
○都筑馨六君 併ナガラソコハ遅クモ一週間以内ト云フデアリマスカラ、早イ方ノ分
ハ法律ガ禁ジテ居ラヌモノト見エル
○政府委員(一木喜徳郎君) 其趣意デハ無カッタノデス、本免許ヲ受ケテカラデナケレ
バ代金ハ拂ヘナイ、唯吳レル積リナラ構ハヌ
○都筑馨六君 先ヘ拂フテモ宜ササウナモノデスネ
○藤田四郎君 是ハ詰リアトノ本免許ノアルマデハ管理人ガヤッテ居ルノデセウ
○政府委員(一木喜徳郎君) 實際ハ強制管理ト共ニ申出ルデゴザイマセウカラ管理
人ガヤッテ居リマス

○政府委員(吉村源太郎君) 一ツ條文ノ修正ヲ……、修正ノ七十二條ニアリマス
「五十二條」トアルノガ「五十條」ニ、ソレカラ修正ノ七十八條ノ所ニアリマス「四十六條」
ガ「四十三條」、「四十八條」ガ「四十五條」、「五十條」ガ「四十七條」トナリマス
○都筑馨六君 是ハ議論デヤナイ御相談デスガ、先刻ノ一週間以内ト云フノデハ一番
終ヒノ期限ヲ極メタヤウニ見エルガ、何ゾ一週間ノ中ニ拂ヘト云フ意味ニ變ヘル必要ハ
無イノデスカ
○政府委員(一木喜徳郎君) 意味ハ今申シタ通りデアリマス
○藤田四郎君 六十五條ハ本免許ヲ受ケタ日カラ一週間以内ト云フノデスカラ、會
社ガ入札シテモ本免狀ヲ受ケラル、ヤ否ヤハ分ラヌカラ、免許ヲ受ケテカラデナケレバナラ
ヌト云フノガ原則デヤナイカト思ヒマス
○都筑馨六君 自然サウナリマスガ、前以テ本免許ヲ受ケタナラバ己レノ物ニスルト云
フ前以テ條件ヲ附ケテ拂フテ置ケヌト云フコトハドウモ此法律ノ上カラハ見ラレナイ、大抵
受ケラレルモノトシテ拂フカモ知レヌ
○藤田四郎君 大抵起發シタ會社ヲ設立スル準備モセネバナラヌ、免許モ受ケネバナラ
ヌカラ金ヲ拂フノハ此クラ井ノ餘地ガ無ケレバイケマイト思ヒマス
○副委員長(子爵堀田正養君) 先ヘ進ミマス

(書記朗讀)

第八十二條 主務官廳カ管理人ヲ任免シタルトキハ其ノ旨ヲ債務者、鐵道財團ノ
所有者、抵當權者及裁判所ニ通知スヘシ

第八十三條 鐵道財團ノ所有者カ管理人選任ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ鐵道
財團ヲ管理人ニ引渡スヘシ
管理人ハ鐵道財團ノ所有者ニ對シ管理ニ必要ナル書類其ノ他ノ物ノ引渡ヲ求
ムルコトヲ得
鐵道財團ノ所有者カ前二項ノ引渡ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ管理人ノ申立ニ因
リ執達吏ヲシテ其ノ引渡ヲ爲サシムヘシ
第八十四條 強制管理ノ申立人ハ管理人ノ請求ニ因リ管理ノ費用ヲ立替支辨
スヘシ
第八十五條 管理人ハ鐵道財團ノ管理及收益ニ付必要ナル裁判上又ハ裁判外
ノ行爲ヲ爲スヘシ
第八十六條 鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對スル取締役ノ責任ハ管理人ノ之ヲ負フ
第八十七條 管理人ハ每營業年度ノ終ニ於テ鐵道財團ノ收入ヨリ管理ノ費用、
管理人ノ報酬及租稅其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額ヲ抵當權者ニ交付スヘシ
第八十八條 管理人ハ每營業年度ノ終ニ於テ計算報告書ヲ主務官廳ニ差出スヘ
シ

主務官廳ハ前項計算報告書ノ謄本ヲ債務者、鐵道財團ノ所有者及抵當權者
ニ送付シ且一定ノ期間内ニ異議アラハ之ヲ申出ツヘキ旨ヲ催告スヘシ
前項ノ期間内ニ異議ヲ申出デサリシ者ハ計算ヲ承認シタルモノト看做ス
異議ヲ申出デタル者アリタルトキハ主務官廳ハ管理人ノ陳述ヲ聽キタル後之ヲ裁
定ス此ノ裁定ハ終局トス

第八十九條 管理人ハ前條第二項ノ期間ヲ過キ又ハ前條第四項ノ裁定ヲ經タル
後ニ非サレハ抵當權者ニ對シ配當額ノ交付ヲ爲スコトヲ得ス
管理人カ配當額ノ交付ヲ爲シタルトキハ抵當權者ノ名稱及配當額ヲ主務官廳
及裁判所ニ通知スヘシ

第九十條 強制管理ノ取消ハ裁判所ノ決定ヲ以テ之ヲ爲ス
強制管理ノ申立ヲ爲シタル抵當權者カ辨濟ヲ受ケタルトキハ裁判所ハ強制管理
ノ取消ヲ命スヘシ

強制管理ノ申立人カ管理費用ノ立替支辨ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ管理人ノ申
立ニ因リ強制管理ノ取消ヲ命スルコトヲ得
第九十一條 前條第二項ノ場合ニ關シテハ第七十一條第二項及第三項ノ規定
ヲ準用ス

前項ノ場合ヲ除クノ外強制管理ノ取消ニ關シテハ第七十二條ノ規定ヲ準用ス

○藤田四郎君 八十七條ニ「管理ノ費用、管理人ノ報酬」ト云フコトガアリマスガ「及
租稅其ノ他ノ公課」トアリマス、是ハ倒マニナラナクテモ宜ウゴザイマスガ、障ルコトハゴザイ
マセヌカ
○都筑馨六君 此間ノ順位ト云フノハドウナルノデスカ、此處ニ書イテアル通りノ順デ
先取優先權ヲ持ツノデスカ、對等ノ權利ヲ持ツノデスカ
○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ此順序ヲ行ク積リデアリマス

○都筑警六君 ドウデセウ、唯文字が先に出タケテ順位デ行クト云フコトが明カデセウカ、サツキモ疑フ起シタケレドモ聞クコトヲ忘レタノデスガ、チヨット見ルトドウシテモ此處ニ書イテアルモノハ對等ノ競争ヲスルヤウニ見エマスガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレデハ「順次」ト云フコトヲ入レタ方が宜イデセウ

○都筑警六君 「順次」デ分ルデセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 分リマス

○藤田四郎君 「順次」ト入レルノデスネ

(速記中止)

○副委員長(子爵堀田正養君) 速記ヲ始メマス

○政府委員(吉村源太郎君) 此九十一條ニゴザイマス「七十一條」ト云フノガ、前ノ修正ノ結果「六十八條」トナリ、二項ノ「七十二條」トゴザイマスノガ「六十九條」トナリマス

○副委員長(子爵堀田正養君) ソレデハ先キヘ進シテ宜シウゴザイマスカ

(書記朗讀)

第四章 罰則

第九十二條 左ノ場合ニ於テハ取締役又ハ管理人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ定メタル裁定ヲ遵守セサルトキ

二 第二十二條又ハ第二十三條ノ催告ヲ爲ササルトキ

三 第三十四條ノ登録ノ申請ヲ爲ササルトキ又ハ不正ノ申請ヲ爲シタルトキ

四 第三十七條ノ届出ヲ爲ササルトキ又ハ不正ノ届出ヲ爲シタルトキ

五 管理方法ニ付主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキ

六 第九十一條ノ計算報告書ヲ差出ササルトキ又ハ不正ノ報告ヲ爲シタルトキ

七 配當額ノ交付ヲ爲ササルトキ又ハ第九十條若ハ第九十二條第一項ノ規定ニ違反シテ配當額ノ交付ヲ爲シタルトキ

八 第九十二條第二項ノ通知ヲ爲ササルトキ

第九十三條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ニ定メタル過料ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○都筑警六君 第九十三條デスガ、非訟事件ノ方ハ、是非此所ニ書イテ置ク必要ガ有ルノデスカ、他ノ事ハ書カレズニアツテ、先刻ノ御解釋ノ筆法デ行クト是モ矢張り書カヌ方が宜クハアリマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是非ハ非訟事件手續法ニハタシカ、當然當嵌マルヤウナ規定ガ無い、概括的ノ規定デナイ、ソレデハ已ムヲ得ズ此所ヘ入レタノデアリマス

○都筑警六君 ソレカラ九十二條ノ二號デスナ、此催告ヲサセヌ時ニ罰セザレルノハ宜シイガ、催告ヲセズニシテ仕舞ッタラ、ヤッタ仕事ノ效果ハ矢張り動カスベカラザルモノニナルノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデス

○都筑警六君 是ハ餘程ヤカマシクナリハシマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 第三者ニ對シテハドウモ仕方アルマイト思ヒマス

○都筑警六君 第三ノ場合デスナ、此不正ノ申請ヲナシテ人ノ地面ガ間違ッテ這入ッテ居ッタ時ニデモ矢張り效力ヲ持タセルノデスカ、サウシテ損害賠償ヲ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 財團ノ中ニ這入ルベキモノデナレバ私ハ效力ヲ持ツマイト思フデス、第三條ノ範圍ニ屬シナイモノデアルナラバ……

○都筑警六君 イヤ、三十四條ハ登録ヲ申請スベシト云フ、登録シタル事項ノ變更ヲ要スル財團……

○政府委員(一木喜徳郎君) 這入ルベキ物デアルベキモノガ財團ニ這入ラズシテ、財團ソレ自身ハ依然存在シテ居ルケレドモ入ルベカラザル物ヲ偽ッテ入レベキ物ト届出ヲスル、サウ云フ時ハ財團ニ這入ルマイト思フデス、届出デラシテモ……

○都筑警六君 届出ヲシテ登録ヲシテ仕舞ッテ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 登録ハ無いノデス、財團目錄ニハ……

○都筑警六君 三十四條ノ三號ノ話デス、舊三十四條、今度ノ三十一條……

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ其今御話ノヤウニ人ノ物ヲ入レルト云フヤウナコトデナクシテ登録シタル事項ニ變更ヲ生ズルト云フノハ大分大キナコトデ、例ヘバ鐵道財團ニ屬スル線路ノ表示トカ黒ノ二十三條、ソレカラ抵當權者ノ財團ノ所有者ガ變タト云フヤウナ類ノコトデ今ノ御話ノヤウナモノヲ加ヘルトカ加ヘヌトカ云フ方ハ財團目錄ノ方ニナリマスカラ、ソレハ即チ四號デス

○都筑警六君 此場合ニ届出ガ無いトカ又不正ノ届出ヲ爲シタルトカ……不正ト云フハ間違ッタ届出マデ這入ルデスナ、故意デ無クトモ……其場合ニコチラデハ登録シテ財團ト云ッテ仕舞ッテ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 不正ト云フノハドウモ惡意デナイト……

○都筑警六君 ドウモ惡意デハ少シ是デハ輕過ギハシマセヌカ、刑罰デ宜サ、ウニ思フデス、……チヨット政府委員ニ伺ヒマス、此財團目錄ヲ届出ヲシテ……不正ノ届出ヲナシタルトキノ規定ガ無いヤウデスガ、ソレハドウモ……

○政府委員(齋藤十一郎君) ソレハ九十二條ノ第四號……

○都筑警六君 四號ノ財團目錄ノ變更ヲ生ジタ時ノ届出デアッテ元ノ財團目錄ヲ届出ルコトニ付テハ別ニ何モ制裁ガ無いヤウデスナ

○政府委員(齋藤十一郎君) ソレハ制裁ガゴザイマセヌデモ差支アルマイト思フデス、ソレ故ニ始メニ申請ヲ爲シマスル時ニ財團目錄ヲ添附セネナラヌ若シ之ヲ添附シマセヌケレバ抵當權設定申請ノ効ハ元來無いト云フコトニ相成ルト思ヒマス

○都筑警六君 ソレハ無論デスガ、財團目錄ニ不正ノ廉ガアッタ其時ニハ主務官廳ガ其不正ノ廉ヲ見附ケズシテ、サウシテ公告シタルトキニハ是ダケノ地面ハ財團ニ這入ッタモノダト主務官廳デ認可シタ時ニ間違ッタ届出ニ基イテ居ッテモ認可ノ效力ヲ生ジテ財團ト云フモノガ民法上ソコニ起ルノデ、然ルニ後ニ變更シタ場合ニ於テハ間違ッタ場合ハ是ハ效力ヲ生ジナイ、斯ウ解釋ガ出來テ來ルノハ第一ヨカシイ、又其不正ノ届出ヲシテ行政

官廳ヲ欺クヤウナ届出ヲシテ財團目錄ヲ出シテ來ルトキニハ既ニ不正ノ届出ヲシタナラバ罰シテ宜サ、ウニ思ヒマスガ其釣合ハドウデス

○政府委員(一木喜徳郎君) 此ノ方ト主義ガ變リマシタカラ都筑君ノ御質問ハ御尤ノヤウニ考ヘマス、即チ此間違テ財團ノ設定ノ認可ヲシテ、登錄シテ仕舞ッテ一旦認可ガアリ登錄セラレタ以上ハモウ第三條ノ範圍ニ總テ當然屬スル、斯ウニ云フヤウニナリマス、或ハ此三號四號ニモ始メニ登錄ヲ願フ時若クハ財團目錄ヲ出ス時ハ制裁ヲ加ヘル必要ガアルト思ヒマス、尙其點ハ考ヘテ見マス、初メノ考ハ後ニ申請ヲセズニ置キマスルト云フト……若クハ届出ヲセズニ置キマスルト大ニ差支ヘル、初メノ時ニハ若シ間違ッテ居レバ、ソレハ效力ヲ失フト云フヤウナコトニナルデスカラ差支ハナイ、ケレドモ財團ニ成立ッテ居ルト第三條ノ範圍ニ屬スベキ物ノ届出ヲシテ置ケバ財團ニ屬スベキ物デアッテ、サウシデ財團ニ屬シテ居ラヌト云フモノニシテ屬シテ居ルト云フコトガ明カデナイト云フヤウナコトガ生ジマスカラ此罰則ヲ掲ゲタノデアリマス、前ノ方ノ主義ト少シ變リマシタカラ多少變更スル必要ガアラウカト思ヒマス、尙能ク考ヘテ置キマス

○都筑馨六君 ツレデソレヲ御考ヘ下サルナラバ、ドウゾ御序デニ此不正ト云フ文字ノ中ニハ唯惡意ダケノ不正ヲ指スノデアルナラバ是ハ罰デハ足りナイト云フコトヲ併セテ御考ヘ置ヲ願ヒタイ

○政府委員(一木喜徳郎君) ツレモ考ヘテ置キマスガ、其釣合ハ矢張り斯ナモノデス

○都筑馨六君 其釣合ガ輕イト考ヘテ居ルノデ過料、過チ料デアッタノデ間違ッテ不正ト云フ文字ノ中ニ過チ料ガ含マレテ居ルガ私ハ片方ハ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 少クトモ故意ノヤツハ含ムデアラウト思フデス

○都筑馨六君 無論含マレデス

○政府委員(一木喜徳郎君) 其故意ノヤツハ千圓デモ足ラヌト云フナラバ他ノモノハ千圓マデ行ケルト云フ途ヲ開イテ置カナケレバナラヌ

○都筑馨六君 ソコハ如何デゴザイマス、此抵當法ト云フモノハ事ニ依ルト國ノ信用ニモ關係スルヤウナ大キナ結果ヲ來スノデアアルマイカ、サウスレバ惡意ノ場合ハ少シ高ク罰シテ置ク必要ガアリハセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 成ルホド事ガ大キイカラ……

○都筑馨六君 ヘエ、國家ノ安寧ニ關スル重大ノコトデアルカラ……

○村田保君 ツレカラ罰則ヲ序デニ考ヘテ戴キタイ、九條ナドト云フモノハ罰ガ無クチャアナラヌモノデヤラウト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ尙考ヘテ置キマセウ

○副委員長(子爵堀田正義君) 如何デス、モウ他ニ御質問ハ有リマセヌカ

○藤田四郎君 第五十一條ノ撤回イタシマシタ但書ヲ今一應良イ案ガゴザイマス、御考ヘ置ヲ願ッデ置キタイ

○政府委員(一木喜徳郎君) 尙考ヘテ置キマセウ、モウチット形ノ奇麗ナ案ガ出來ルカモ知レマセヌ

○藤田四郎君 詰リ書キ方デスナ

○政府委員(吉村源太郎君) 罰則ノ九十二條ノ二號ニ「第二十二條」トアルノガ……

○副委員長(子爵堀田正義君) 條數ハ順ヲ追ッテ見レバ分リマスカラ……委員會ハ今日ハ是デ終リマス

午後三時十一分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 子爵堀田 正義君

委員 子爵大宮 以季君 子爵鳥居 忠文君 子爵三島彌太郎君

男爵前島 密君 男爵小澤 武雄君 村田 保君

男爵平田 東助君 男爵川口 武定君 古市 公威君

藤田 四郎君 都筑 馨六君 高木 豐三君

小幡篤次郎君

國務大臣 遞信大臣 大浦 兼武君

政府委員 法制局長官 一木喜徳郎君 法制局參事官 吉村源太郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君 司法省參事官 齋藤十一郎君

遞信省鐵道局長 山之内 一次君

明治三十八年二月十三日印刷

明治三十八年二月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局